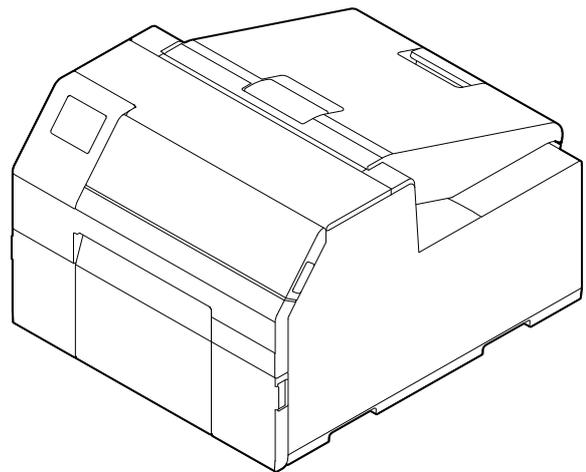
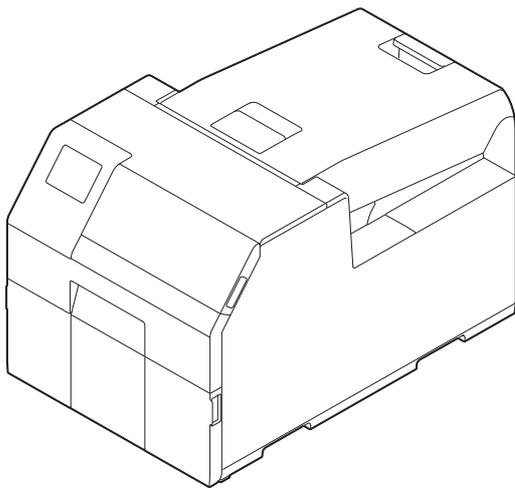


CW-C6020 Series

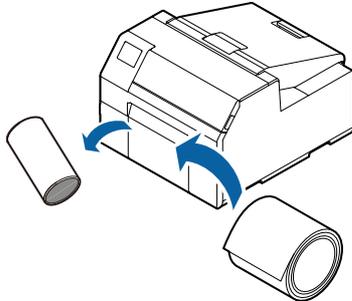
CW-C6520 Series

ユーザーズガイド

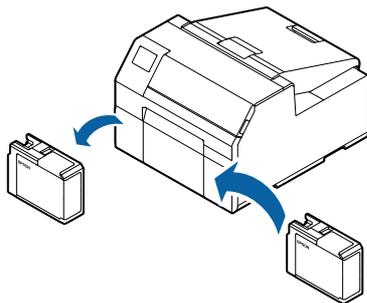
ご使用の前に
基本の操作
メンテナンス
困ったときは
仕様
付録



41 ページ「用紙のセット・交換」



31 ページ「インクカートリッジの交換」



66 ページ「困ったときは」



ご使用の前に 4

■ 本製品マニュアルの使い方 4

最新版のダウンロード 4

本文中のマークについて 5

■ 本製品のモデルについて 6

オートカッターモデル 6

ピーラーモデル 6

フォトインク仕様 / マットインク仕様 6

■ ソフトウェアの紹介 7

■ 製品とドライバーのバージョン 8

製品のバージョン確認方法 8

プリンタードライバーのバージョン確認方法 8

■ 掲載画面 9

■ 掲載イラスト 9

■ 安全にお使いいただくために 10

設置上のご注意 10

取り扱いのご注意 10

電源のご注意 12

インクカートリッジに関するご注意 13

メンテナンスボックスに関するご注意 15

注意ラベル 15

■ 使える用紙の種類 17

用紙の形状 17

用紙の形態 17

使える用紙一覧 18

使用できない用紙 19

■ 各部の名称とはたらき 20

本体前面 20

本体背面 21

本体内部 22

スピンドルとフランジ 23

操作パネル 24

基本の操作 26

■ 電源のオン / オフ 26

電源のオン 26

電源のオフ 26

■ 用紙カバーの開け方 27

製品正面から見て手前側のレバーを引いて

用紙カバーを開ける 27

製品正面から見て奥のレバーを引いて

用紙カバーを開ける 27

■ プリンターの状態を確認する 28

用紙の情報を確認する 28

消耗品の状態を確認する 29

ノズルチェックパターンの印刷	29
ステータスシート印刷	30
ネットワークの接続状態や設定情報を確認する	30
■ インクカートリッジの交換	31
インク残量の確認	31
インクカートリッジの交換手順	32
■ メンテナンスボックスの交換	33
メンテナンスボックスの空き容量の確認	33
メンテナンスボックスの交換手順	34
■ プリンタードライバーの設定	35
■ 用紙のセット・交換	41
用紙のセット	
(オートカッターモデル・内部供給の場合)	42
用紙のセット	
(オートカッターモデル・外部供給の場合)	45
用紙のセット	
(ピーラーモデル・内部供給の場合)	48
用紙を取り除く	
(オートカッターモデルの場合)	52
用紙を取り除く	
(ピーラーモデルの場合)	53
用紙エンド時の排紙	
(オートカッターモデルの場合)	54
用紙エンド時の排紙	
(ピーラーモデルの場合)	55

メンテナンス..... 56

■ 外装のクリーニング	57
■ オートカッターのクリーニング	
(オートカッターモデルのみ)	58
■ ピーラーのクリーニング	
(ピーラーモデルのみ)	59
■ 用紙ガイド (固定と可動) のクリーニング	60
■ プラテンのクリーニング	61
■ 紙送りローラーのクリーニング	62
■ 紙押さえローラーのクリーニング	63
■ プrintヘッドのクリーニング	64
操作パネルから実行する	65
プリンタードライバーから実行する	65
WebConfig から実行する	65

困ったときは..... 66

■ 用紙が詰まった	66
オートカッターモデルの場合	67
ピーラーモデルの場合	69

■ 印刷品質に問題がある	71
横方向に白スジが印刷される	71
縦方向に白抜けが発生する (オートカッターモデル)	71
白スジや黒スジが印刷される	71
印刷された色がおかしい	72
印刷位置がずれる	72
用紙が汚れる・インクが付着する	72
用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる	72
■ 印刷できない / 急に印刷できなくなった	73
データを送信しても印刷できないとき (ピーラーモデル)	73
■ コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった	73
プリンタードライバーのインストール確認	73
電源がオンにならない	73
PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない	73
■ 画面にメッセージが表示された	74

仕様..... 79

■ 製品仕様	79
電氣的仕様	80
外形寸法	80
■ 環境仕様	81
■ 用紙仕様	82
■ インクカートリッジ	83
■ メンテナンスボックス	83

付録..... 84

■ 消耗品とオプション品	84
インクカートリッジ	84
メンテナンスボックス	85
ロール紙ホルダー	86
■ 使用制限	87
■ お問い合わせ前の確認事項	88
■ ご注意	89
■ 商標	89

ご使用前に

本章では、本製品をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

本製品マニュアルの使い方

紙のマニュアル はじめにお読みください



本製品の同梱品の確認・設置・セットアップの方法について説明しています。また、本製品を取り扱う上での注意事項も記載しています。安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用前には必ずお読みください。

パソコンで見る マニュアル



ユーザーズガイド（本書）

本製品の機能や操作方法、メンテナンスに関する情報や各種トラブルの解決方法について説明しています。付属の CD から閲覧できます。

パソコンで見る マニュアル



CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書

本製品のセットアップや日常的に行う作業、システム開発に必要な情報を説明しています。以下の URL からご覧ください。

< <https://www.epson.jp/support/> >

パソコンで見る マニュアル



Web 動画マニュアル

操作方法や困ったときの解決方法を動画で分かりやすく説明しています。以下の URL からご覧ください。

< https://support.epson.net/p_doc/790/ >

動画の内容は変わることがあります。

最新版のダウンロード

プリンタードライバー、ユーティリティ、マニュアル類の最新版は、下記 URL からダウンロードできます。

< <https://www.epson.jp/support/> >

本文中のマークについて

本書では、以下のマークを用いて重要な事項を記載しています。

安全に関するマーク

本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関するマーク

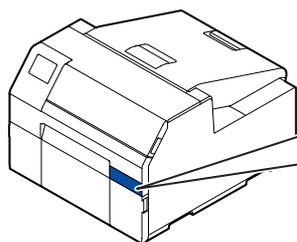
 重要	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。

本製品のモデルについて

オートカッターモデル

特長： オートカッターを搭載しています。アプリケーションの設定や、操作パネルのカットボタンで用紙をカットできます。

型番：



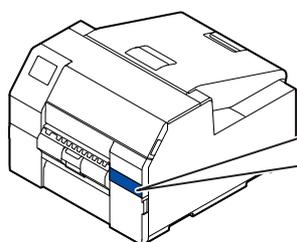
CW-C6020A (4 インチモデル)
ColorWorks C6020A

CW-C6520A (8 インチモデル)
ColorWorks C6520A

ピーラーモデル

特長： ピーラー機構が搭載されています。ピーラーに台紙を通すことで、台紙とラベルを剥がしながら印刷することができます。

型番：



CW-C6020P (4 インチモデル)
ColorWorks C6020P

CW-C6520P (8 インチモデル)
ColorWorks C6520P

フォトインク仕様 / マットインク仕様

本製品は、フォトインク (BK) またはマットインク (MK) いずれかのブラックインクが使えます。初期充填時に、どちらのブラックインクを使用するのかを設定します。

それぞれの仕様で使える用紙については、[82 ページ「用紙仕様」](#)を参照してください。



初期充填時に設定したブラックインクの仕様は、一度設定したら変更できません。

ソフトウェアの紹介

本製品に同梱されている CD-ROM からインストールできるソフトウェアを紹介します。

名称	概要
Install Navi	プリンタードライバー等のインストールや、本製品とコンピューターの接続を行います。
プリンタードライバー	Windows アプリケーションから印刷するためのドライバーです。ドライバーから、プリンターの設定をするためのユーティリティ (CW-C6020 Series/CW-C6520 Series PrinterSetting) を起動できます。ドライバーの使用方法はヘルプや動画を参照してください。
EpsonNet Config	本製品の TCP/IP をはじめとした各種情報の取得と設定を行うツールです。
Color Tone Matching Assistant	印刷するイラストや文字の色調整を支援するためのユーティリティです。イラストや文字などの特定の色が、どのような色味で出力されるかを確認できます。

製品とドライバーのバージョン

製品のファームウェアとプリンタードライバー、ユーティリティーはすべて最新のバージョンの組み合わせでご使用ください。

特に、以下のファームウェアバージョンの製品をお使いの場合は、最新のファームウェアをダウンロードして更新してください。

TS05JC、TS06JC、TS26JC、TS19K2、TS25K3、TS21K5

最新版の入手方法は [4 ページ「最新版のダウンロード」](#) を参照してください。

製品のバージョン確認方法

ステータスシート印刷で、お使いの製品ファームウェアのバージョンを確認できます。ステータスシート印刷結果を確認してください。([30 ページ「ステータスシート印刷」](#))

操作パネルからも確認できます。

[Menu] - [情報確認 / 印刷] - [ファームウェアバージョン]

プリンタードライバーのバージョン確認方法

プリンタードライバーの画面でバージョンを確認できます。



プリンタードライバー
バージョン

掲載画面

お使いの製品および OS によって、本文中の表記と実際に表示される Windows の画面が異なる場合があります。本書では、特に指定がない限り Windows 10 の画面を掲載しています。

掲載イラスト

本文中のイラストがお使いの機種と若干異なる場合があります。本書では特に指定がない限り CW-C6520A のイラストを掲載しています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には、必ず本書および本製品に添付されているその他の取扱説明書をお読みください。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように大切に保管してください。

設置上のご注意

 警告	<p>本製品の通風口を塞がないでください。(P.21 ページ「本体背面」) 通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。 布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 また、マニュアルで指示された設置スペースを確保してください。</p>
 注意	<p>不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。</p> <p>油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気が多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。</p> <p>本製品は重いので、1人で運ばないでください。 開梱や移動の際は2人以上で運んでください。本製品の質量は以下を参照してください。 (P.79 ページ「製品仕様」)</p> <p>直射日光などの強い光が当たる場所に置かないでください。 検出器が誤動作し、正常に印刷ができなくなるおそれがあります。</p>

取り扱いのご注意

 警告	<p>アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>煙が出たり、変なおいや音がしたりなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 異常が発生したときは、すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。</p> <p>異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。</p> <p>マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。</p> <p>お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p>
--	--

 警告	<p>可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。引火による火災のおそれがあります。</p>
	<p>各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。</p>
	<p>製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。感電や火傷のおそれがあります。</p>
	<p>開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>本体の画面が破損したときは、中の液晶に十分注意してください。 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗い流してください。 * 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 * 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
 注意	<p>本製品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。特に、子どものいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。</p>
	<p>各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。火災やけがのおそれがあります。マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。</p>
	<p>本製品を移動する際は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、全ての配線を外したことを確認してから行ってください。コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。</p>
	<p>用紙カバーを取り外して使用しないでください。正常に動作、印刷ができなくなります。</p>

電源のご注意

 警告	<p>AC100V 以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談してください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 電源コードを加工しない * 電源コードに重いものを載せない * 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない * 熱器具の近くに配線しない
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。</p>
	<p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 電源コンセントから直接電源を取ってください。</p>
	<p>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。</p>
	<p>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p>
 注意	<p>長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

インクカートリッジに関するご注意

 注意	<p>製品の機種型番によって、使用できるインクカートリッジが異なります。お使いのプリンターの機種型番に合うインクカートリッジを使用してください。 (P.84 ページ「インクカートリッジ」)</p>
	<p>インクカートリッジの IC チップには触らないでください。 正常に動作・印刷できなくなるおそれがあります。</p>
	<p>本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。</p>
	<p>ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。 本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。</p>
	<p>インクカートリッジは、全色セットしてください。 全色セットしないと印刷できません。</p>
	<p>本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。</p>
	<p>プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。</p>
	<p>充填中 (④(電源)LED の点滅中) は、電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。 カバーを開けると、閉じたときにインクが再度充填され、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。</p>
	<p>モノクロ印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが使われます。</p>
	<p>インクカートリッジを分解しないでください。 分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。</p>
	<p>インクカートリッジを分解または改造しないでください。 正常に印刷できなくなるおそれがあります。</p>
	<p>古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6 ヶ月以内に使い切ってください。未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。</p>

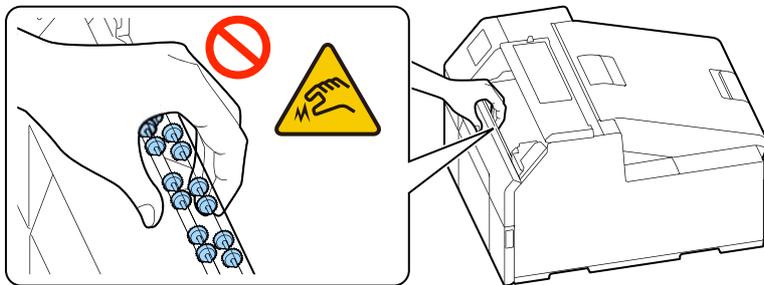
 注意	<p>インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。 * 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
	<p>取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。</p>
	<p>インクカートリッジの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。</p>
	<p>インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したり、側面を強く押ししたりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。</p>
	<p>カートリッジセット部に異物を入れたり落としたりしないでください。 印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、セット部に傷をつけないように取り除いてください。</p>
	<p>購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できるページ数が少なくなることがあります。</p>
	<p>本体の⓪（電源）ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ（ふた）をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の⓪（電源）ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。</p>
	<p>アート紙等の表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。</p>
	<p>インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。</p>
	<p>インクカートリッジは冷暗所で保管することをおすすめします。</p>
<p>インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。</p>	
<p>本製品を保管、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。</p>	

メンテナンスボックスに関するご注意

 注意	子供の手の届かない場所に保管してください。また、インクは飲まないでください。
	メンテナンスボックスを分解または改造しないでください。 分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
	メンテナンスボックス上の IC チップは触らないでください。
	使用可能なメンテナンスボックスを取り外して長期間放置した場合は再使用しないでください。
	メンテナンスボックス上面のフィルムは剥がさないでください。
	インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 * 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 * 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。 * 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
	使用したメンテナンスボックスは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、メンテナンスボックスからインクが漏れるおそれがあります。
	高温下及び凍結状態での保存は避けてください。
	直射日光を避けてください。

注意ラベル

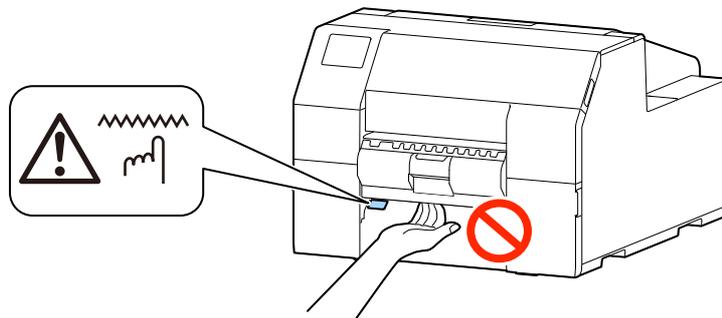
本製品に貼付されているラベルは、以下の注意事項を示しています。

 警告	用紙押さえユニットの底面にあるローラーに手を触れないでください。けがをするおそれがあります。
	



注意

ピーラーカバー下部にあるマニュアルカッターに手を触れないでください。けがをするおそれがあります。



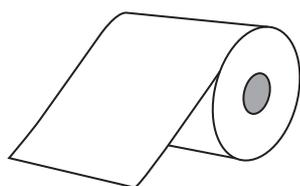
使える用紙の種類

本製品で使える用紙の形状と形態は以下のとおりです。

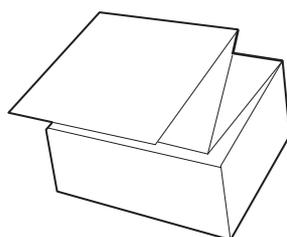
詳しい仕様については、CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。

用紙の形状

以下の形状の用紙を使えます。



ロール紙



ファンフォールド紙

用紙の形態

以下の形態の用紙を使えます。

連続紙（粘着加工なし）

- 連続紙



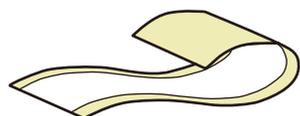
粘着加工なしの連続紙
(ブラックマークなし)



粘着加工なしの連続紙
(ブラックマーク基準^{*1})

ラベル紙（粘着加工あり）

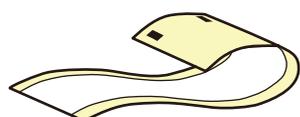
- 全面ラベル



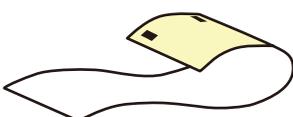
カス取りあり、ブラックマークなし



カス取りなし、ブラックマークなし

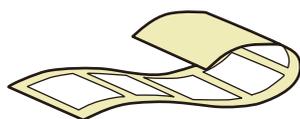


カス取りあり、ブラックマーク基準^{*1}

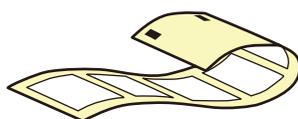


カス取りなし、ブラックマーク基準^{*1}

• ダイカットラベル



ギャップ基準 *2



ブラックマーク基準 *1

*1 :用紙の裏に印刷された黒いマークを基準に、印刷位置を検知します。

*2 :ラベル間のすき間を基準に、印刷位置を検知します。



参考

オートカッターモデルを使用して、全面ラベルを印刷する場合のご注意

- 印刷したラベルが排紙口に残ったときは取り除いてください。ラベルが排紙口に残った状態で印刷を継続すると、印刷したラベルが2重でカットされたり、用紙が詰まったりするおそれがあります。
- カッターにラベルの粘着物が付着し、切れ味が悪くなるおそれがあります。用紙が切れにくくなった場合は、オートカッターのクリーニングをおすすめします。
([P.58](#) ページ「オートカッターのクリーニング (オートカッターモデルのみ)」)

ダイカットラベルをご使用の場合のご注意

型抜きされたラベルの形状によっては、プリンターの内部でラベルが台紙から剥がれるおそれがあるため、ギャップ検出器を操作する必要があります。ギャップ検出器の操作については、CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。

使える用紙一覧

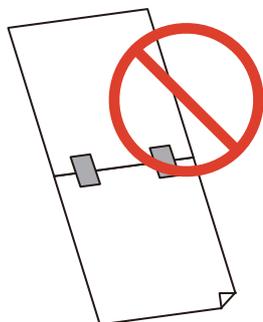
用紙の形状	用紙の形態	用紙の種類
ロール紙	全面ラベル (ブラックマーク付)	普通紙 マット紙 合成紙 上質紙 光沢紙 光沢フィルム 高光沢紙
	全面ラベル (ブラックマークなし)	
	ダイカットラベル (ブラックマーク付)	
	ダイカットラベル (ブラックマークなし)	
	連続紙 (ブラックマーク付)	
	連続紙 (ブラックマークなし)	
ファンフォールド紙	ダイカットラベル (ブラックマーク付)	高光沢紙
	連続紙 (ブラックマーク付)	

使用できない用紙

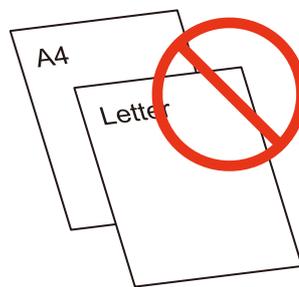
以下のような用紙はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



サーマル紙



テープなどで繋ぎ、
延長した用紙



A判、B判などの用紙

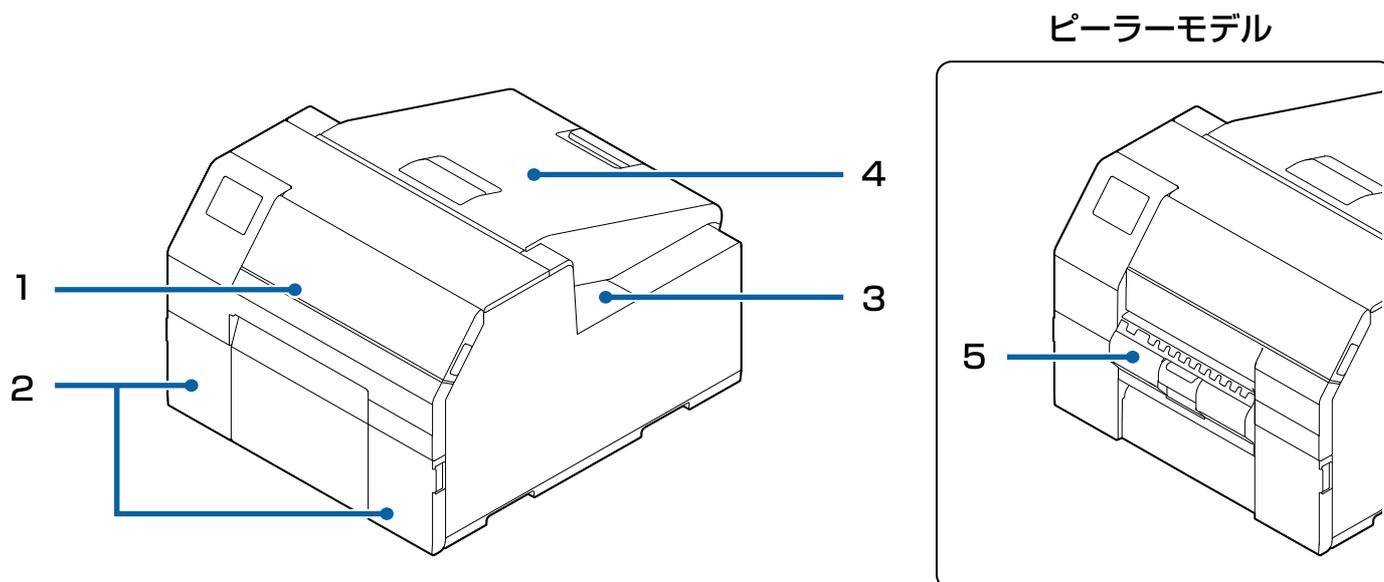


台紙が透明の用紙

各部の名称とはたらき

ここでは、主な操作部を説明します。

本体前面



1 前面カバー

用紙が詰まったとき、用紙を除去するために開けます。
([66 ページ](#)「用紙が詰まった」)

2 インクカートリッジカバー

インクカートリッジを取り付け / 交換するときに開けます。
([31 ページ](#)「インクカートリッジの交換」)

3 メンテナンスボックスカバー

メンテナンスボックスを取り付け / 交換するときに開けます。
([33 ページ](#)「メンテナンスボックスの交換」)

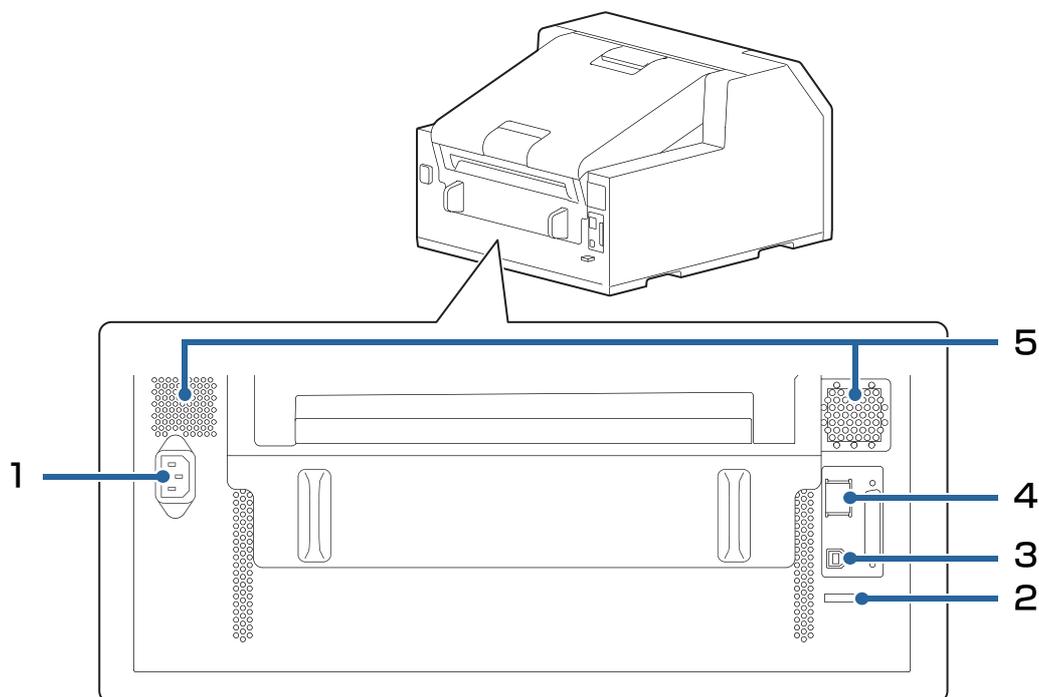
4 用紙カバー

用紙をセット・交換したりするときに開けます。用紙を内部供給する場合と、外部供給する場合で用紙カバーの開け方が異なります。
([27 ページ](#)「用紙カバーの開け方」)

5 ピーラーカバー (ピーラーモデルのみ)

用紙をセットするときに開けます。ピーラーに台紙を通すことで、台紙とラベルを剥がしながら印刷することができます。また、剥がしたラベルが排紙口に残っているかを判別するラベル剥離検出器が付いています。

本体背面

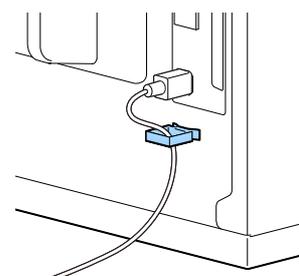


1 電源コネクタ

電源ケーブルを接続します。

2 ワイヤースドル

USB ケーブルを通して、ケーブルの抜けを防止します。



3 USB ポート

USB ケーブルを接続します。

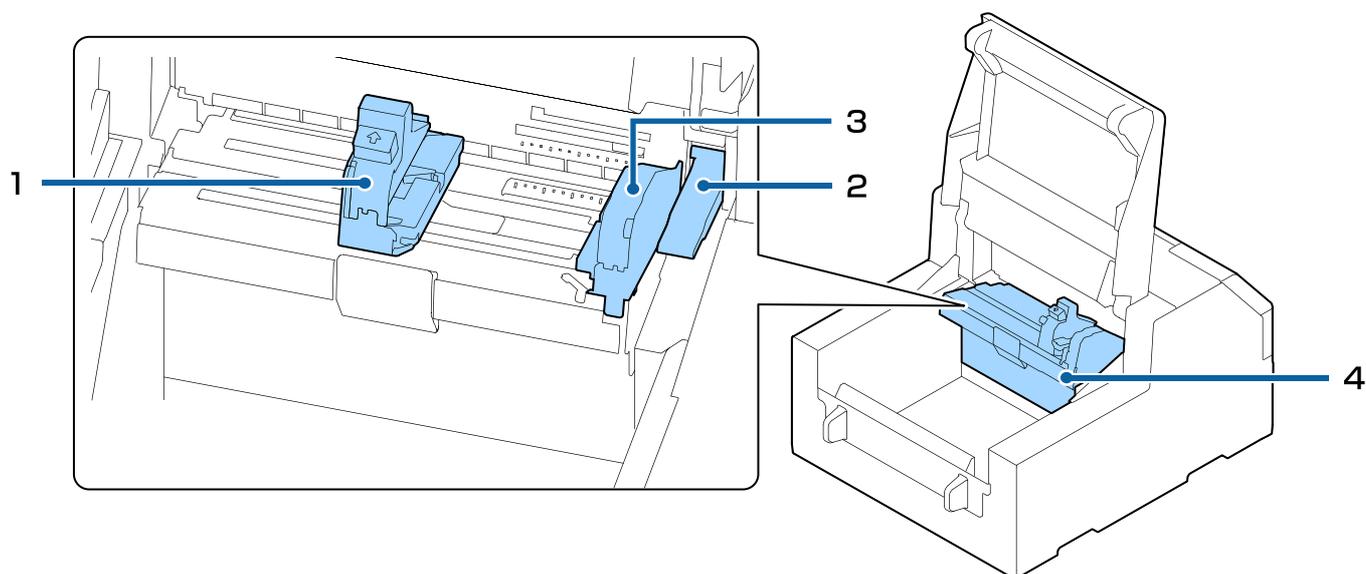
4 LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。

5 通風口

本製品内の温度の上昇を防ぐため、内部で発生する熱を排出します。設置の際は、通風口の周辺から 10 cm 以上のすき間をあげ、風通しを良くしてください。

本体内部



1 用紙ガイド（可動）

用紙幅を固定するためのガイドです。青いレバーをつまむと、用紙ガイド（可動）を移動できます。用紙の幅に合わせて調整します。

2 レリーズレバー

用紙が詰まったときに、用紙を取り除くために使用します。レバーを引き上げると紙押さえローラーの固定が解除され、前面カバー内部から詰まった用紙を引き抜けるようになります。

3 用紙ガイド

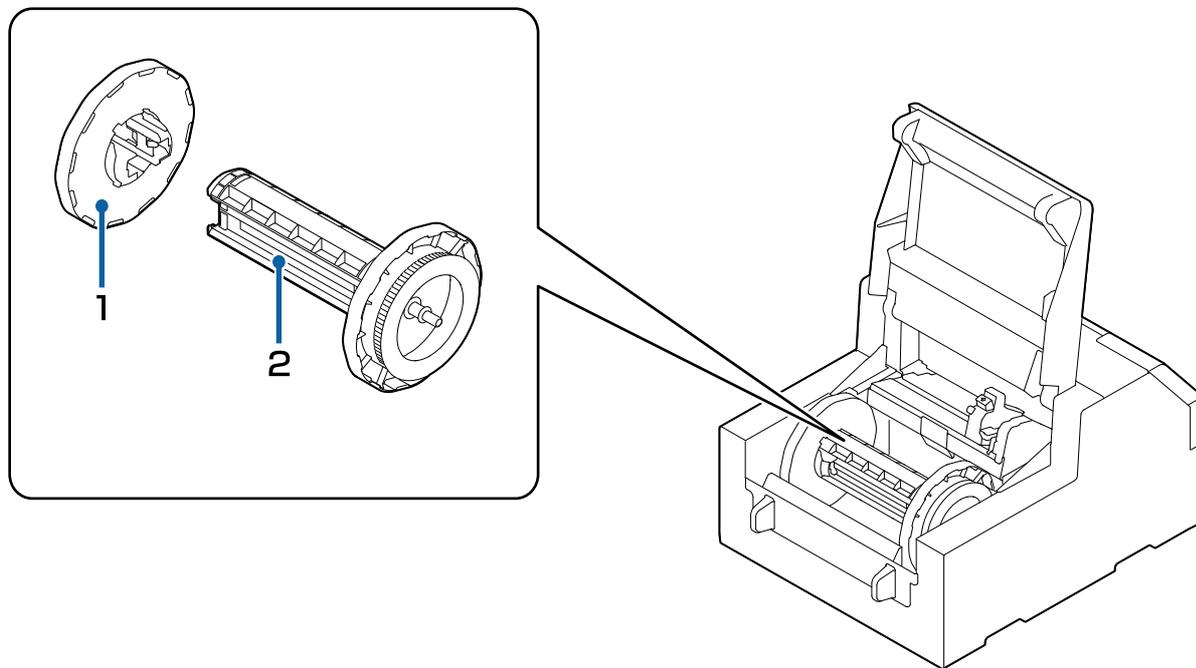
用紙を固定するためのガイドです。用紙を自動給紙させるときは、用紙ガイドに用紙側面が合うようにセットします。

4 用紙ガイドユニット

紙送りローラーをクリーニングするときに動かします。青いレバーを引くとユニット全体が移動し、紙送りローラーを確認できます。

スピンドルとフランジ

用紙を内部供給するときに使用します。



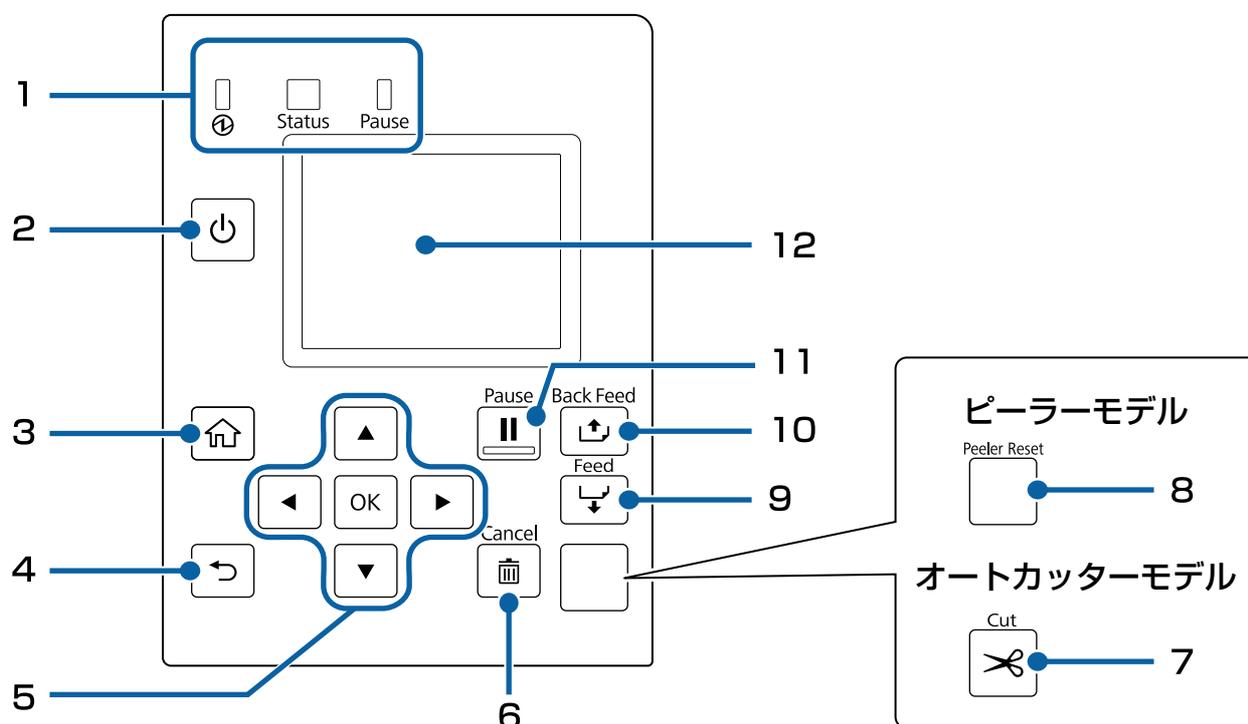
1 フランジ

スピンドルにセットしてロール紙を固定します。青いレバーをつまむことで、スピンドルへ挿入したり、取り外したりできます。

2 スピンドル

ロール紙を差し込んで使用します。

操作パネル



1 LED

LED の点滅によって、プリンターの状態を確認できます。プリンターの状態からエラー原因と対処法を知ることができます。詳しくは CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。

- ①(電源) LED
プリンターの電源がオンのときに、点灯します。印刷中やインクの充填中に、点滅します。
- Status LED
プリンターに異常があるときに、点灯・点滅します。
- Pause LED
プリンターが動作を中断しているときに、点灯・点滅します。

2 (電源) ボタン

電源のオン / オフができます。

3 (ホーム) ボタン

ホーム画面を表示します。

4 (戻る) ボタン

前の画面に戻ります。

5	▲◀▼▶ (選択) ボタンと OK ボタン
▲◀▼▶ ボタンでメニューや項目を選択し、OK ボタンで確定します。	
6	Cancel ボタン
印刷をキャンセルします。 プリンターの一時停止中に [Cancel] ボタンを押し、「キャンセル選択」画面で [先頭フォーマットの み]、または [すべてのフォーマット] を選択し印刷のキャンセルを行います。	
7	Cut ボタン (オートカッターモデルのみ)
用紙をカットします。同じ場所で 2 回はカットできません。	
8	Peeler Reset ボタン (ピーラーモデルのみ)
印刷後に、ラベルを取り除いても次のデータが印刷されない場合に押ししてください。詳しくは 73 ページ 「印刷できない / 急に印刷できなくなった」を参照してください。	
9	Feed ボタン
短く押すと、1 ページ分用紙が送られます。 押し続けると、連続して用紙が送られます。	
10	Back Feed ボタン
用紙交換のときに使用します。長押しすると、用紙が後方に送られ、用紙を引き抜くことができます。	
11	Pause ボタン
印刷中に押した場合：	印刷中のページを印刷後に一時停止し、Pause LED が点灯 します。
印刷待機中に押した場合：	もう一度押すと印刷を再開し、Pause LED が消灯します。 プリンターが一時停止し、Pause LED が点灯します。
	もう一度押すと印刷待機中になり、Pause LED が消灯しま す。
エラーによる一時停止中に押した場合：プリンターの一時停止を解除し、Pause LED が消灯します。	
12	画面
本製品の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示します。	

基本の操作

本章では、本製品の基本的な操作方法について説明しています。

電源のオン / オフ

電源のオン

①(電源) LED が点灯するまで、⏻(電源) ボタンを押してください。

電源のオフ

本体画面が電源オフ確認画面に切り替わるまで、⏻(電源) ボタンを押してください。電源オフ確認画面で「はい」を選択すると、①(電源) LED が消灯して電源が切れます。

用紙カバーの開け方

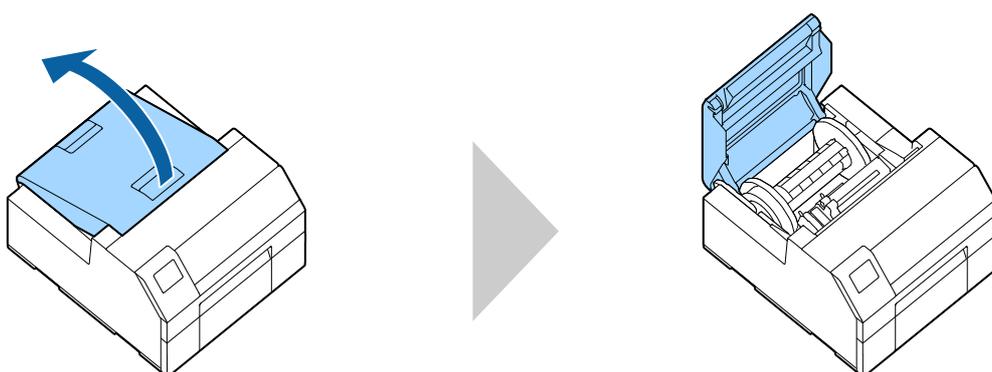
ここでは、用紙カバーの開け方を説明します。



注意

用紙カバーを取り外して使用しないでください。正常に動作、印刷ができなくなります。

製品正面から見て手前側のレバーを引いて用紙カバーを開ける



以下のような場合に開けます。

- 用紙を内部供給でセットしたり、取り除いたりする
- メンテナンスボックスを交換する
- 用紙カバー内部をクリーニングする
- 用紙が詰まったときに取り除く

製品正面から見て奥のレバーを引いて用紙カバーを開ける



以下のような場合に開けます。

- 用紙を外部供給でセットしたり、取り除いたりする

プリンターの状態を確認する

LEDの点灯/点滅と本体の画面から、プリンターの状態を確認できます。

また、ステータスシート印刷によって、プリンターの各種設定状態やノズルチェックパターンを確認できます。

([30ページ](#)「ステータスシート印刷」)

用紙の情報を確認する

プリンターにセットされている用紙の種類、給紙方法、用紙のおおよその残量（ロール紙セット時のみ）は、本体のホーム画面で確認できます。



このエリアを選択すると、[Menu]-[用紙設定]のメニューが表示され、設定を変更できます。用紙設定はプリンタードライバーからも設定できます。[35ページ](#)「プリンタードライバーの設定」

操作パネルとプリンタードライバーでの設定が異なる場合は、プリンタードライバーの設定が適用されます。

消耗品の状態を確認する

各色インクカートリッジ、メンテナンスボックスの状態は、本体のホーム画面で確認できます。



ノズルチェックパターンの印刷

ノズルチェック印刷をすることで、ドット抜けなどの印字不良が発生していないかを確認できます。以下の手順でノズルチェック印刷を実行できます。

操作パネルから実行する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのノズルチェック]

プリンタードライバーから実行する

[プリンターユーティリティ] タブの [ノズルチェック] をクリックします。

WebConfig から実行する

[メンテナンス] タブの [ノズルチェック] を選択した後、[開始] をクリックします。

ステータスシート印刷

ステータスシート印刷をすることで、ファームウェアのバージョンや印刷動作モード、用紙検出設定などの各種設定状態を確認できます。操作パネルから以下の種類のステータスシートを印刷できます。

[Menu] - [情報確認 / 印刷] - [本体ステータスシートの印刷]

ステータスシート印刷例	ステータスシート（ネットワーク設定）印刷例																											
<pre> <Printer Status Sheet> Sheet Output Time YYYY.MM.DD hh:mm <Basic Information> Model XX-XXXX BK Serial Number XXXXXXXXX Main Firmware Version XXXXXXXX MAC Address XX:XX:XX:XX:XX:XX IP Address Setting Auto/Manual IP Address XXX.XXX.XXX.XXX Subnet Mask XXX.XXX.XXX.XXX Gateway Address XXX.XXX.XXX.XXX Head ID XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX </pre> <hr/> <table border="1"> <thead> <tr> <th>頁</th> <th>xxxx</th> <th>yyyy/mm/dd hh:mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>03</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> <tr><td>04</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> <tr><td>05</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> <tr><td>06</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> <tr><td>07</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> <tr><td>08</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> <tr><td>09</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> <tr><td>10</td><td>xxxx</td><td>yyyy/mm/dd hh:mm</td></tr> </tbody> </table>	頁	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	03	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	04	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	05	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	06	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	07	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	08	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	09	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	10	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm	<pre> HHH NetWork Status Sheet HHH <General Information> MAC Address xx:xx:xx:xx:xx:xx Firmware xxxxxxxxx Network Status AUTO(Disconnected) <TCP/IP IPv4> Obtain IP Address Manual IP Address xxx.xxx.xxx.xxx Subnet Mask xxx.xxx.xxx.xxx Default Gateway xxx.xxx.xxx.xxx HHHHHHHHHHHH 1/1 HHHHHHHHHHHH </pre>
頁	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
03	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
04	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
05	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
06	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
07	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
08	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
09	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										
10	xxxx	yyyy/mm/dd hh:mm																										



参考

本体に登録されているフォント・バーコードや、新規に登録したイメージ・テンプレートのリストの印刷も可能です。

ネットワークの接続状態や設定情報を確認する

ネットワーク接続診断レポートで確認できます。レポートの印刷方法や確認できる項目などは CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。

インクカートリッジの交換

ここでは、インクカートリッジの交換方法を説明します。



注意

- インクカートリッジをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。(P.13 ページ「インクカートリッジに関するご注意」)
- ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。

インク残量の確認

操作パネルのホーム画面やエラーメッセージで、各色のインクカートリッジの残量を確認できます。

メッセージ	説明
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。

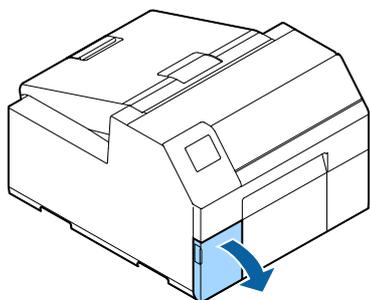
インクカートリッジの交換手順

例として BK インクの交換手順を説明します。交換手順は、どのインクカートリッジも同じです。

重要

ブラックインクを交換する際は、現在セットされているものと同じ仕様のブラックインクをセットしてください。本製品は異なる仕様のブラックインクをセットしても動作しません。

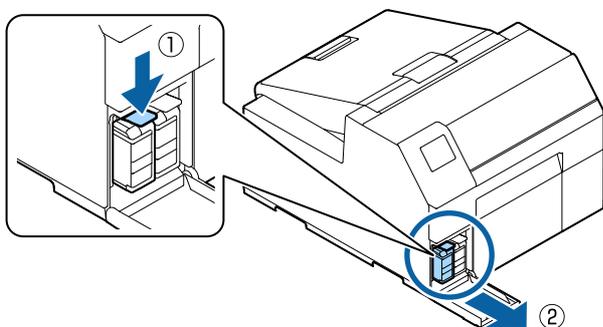
1 左側のインクカートリッジカバーを開けます。



参考

シアンまたはイエローのインクカートリッジを交換するときは、右側のカバーを開けます。

2 レバーを押して、使用済みのインクカートリッジを取り外します。

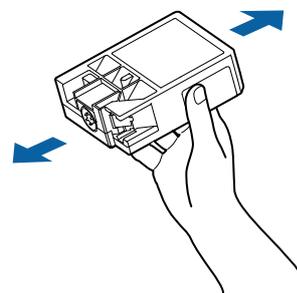


3 袋を開けて新しいインクカートリッジを取り出します。

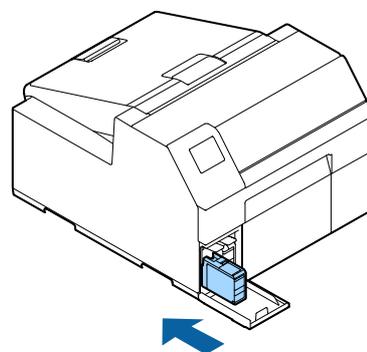


4 インクカートリッジを振ります。

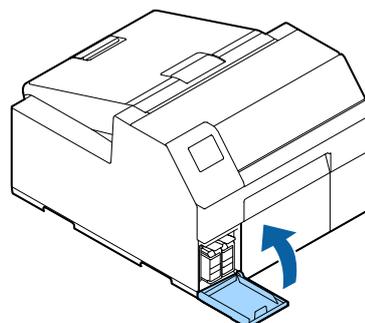
図のように水平方向に両側約 5cm の振り幅で 5 秒間に 15 回程度振ってください。



5 インクカートリッジ挿入部へインクカートリッジを取り付けます。



6 インクカートリッジカバーを閉めます。



メンテナンスボックスの交換

ここでは、メンテナンスボックスの交換方法を説明します。



注意

メンテナンスボックスをセットする前に、取り扱いに関する注意事項をよくお読みください。([15 ページ「メンテナンスボックスに関するご注意」](#))

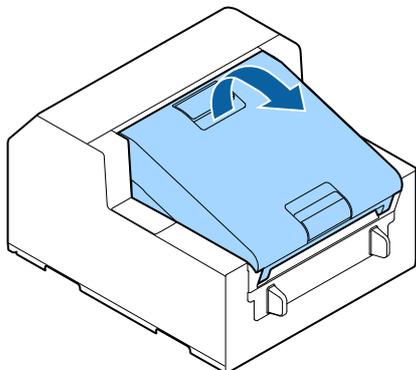
メンテナンスボックスの空き容量の確認

操作パネルのホーム画面やエラーメッセージでメンテナンスボックスの空き容量を確認できます。

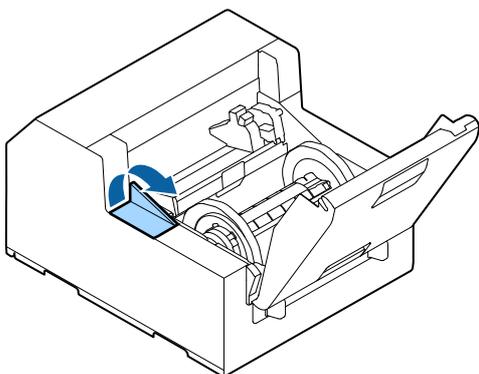
メッセージ	説明
メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。ボックスの交換が必要です。	新しいメンテナンスボックスと交換してください。

メンテナンスボックスの交換手順

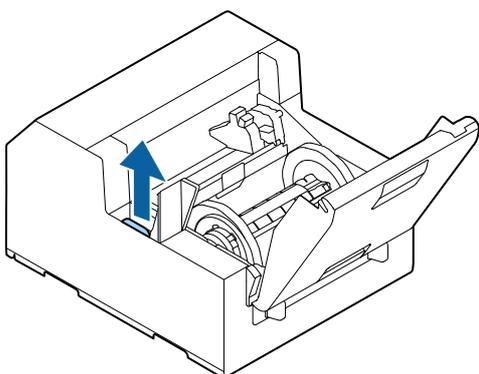
- 1 用紙カバーを開けます。



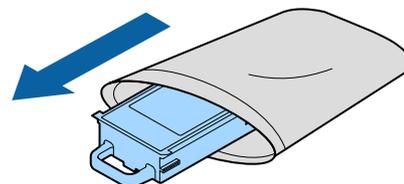
- 2 メンテナンスボックスカバーを開けます。



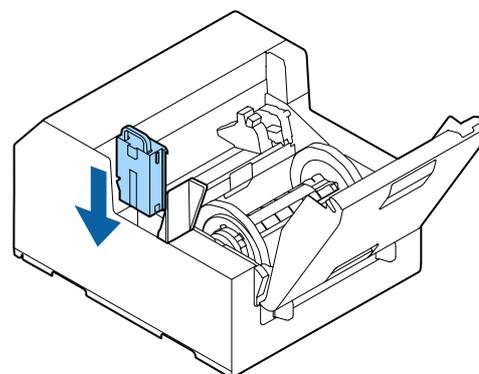
- 3 メンテナンスボックスを取り出します。
使用済みのメンテナンスボックスは付属の袋へ入れて廃棄してください。
(☞ 85 ページ「メンテナンスボックスの廃棄」)



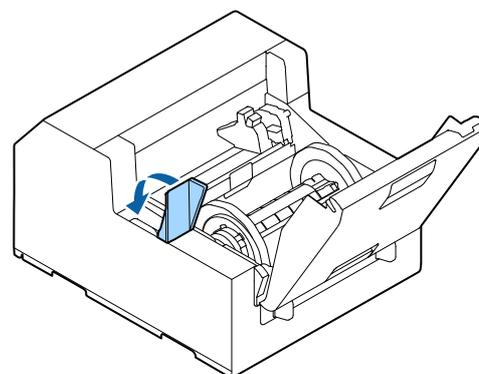
- 4 新しいメンテナンスボックスを袋から取り出します。



- 5 新しいメンテナンスボックスを取り付けます。



- 6 メンテナンスボックスカバーを閉めます。



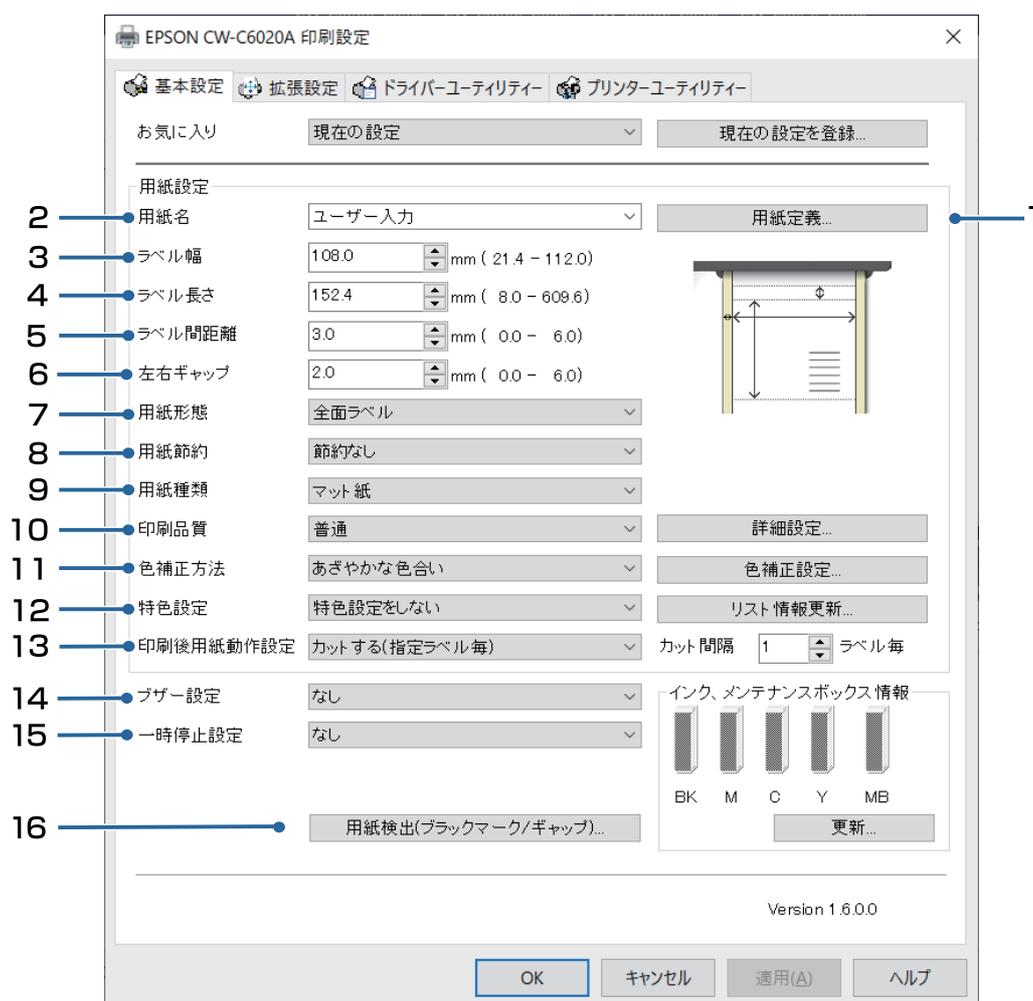
プリンタードライバーの設定

用紙のサイズや形態など、印刷時に必要な基本項目を設定します。

プリンタードライバーには、ヘルプ機能が搭載されています。項目上で右クリックしてヘルプをクリックすると、項目の説明が表示されます。

また、動画でもプリンタードライバーの設定方法を説明しています。以下の URL から動画をご覧ください。

< https://support.epson.net/p_doc/790/ >



参考

プリンター本体の設定（操作パネル、CW-C6020 Series/CW-C6520 Series PrinterSetting、または WebConfig で設定）と、プリンタードライバーの設定が異なる場合、プリンタードライバーの設定を適用して印刷します。

1 用紙定義

よく使う用紙のサイズや形態、種類などを、用紙定義として登録しておくことができます。設定した用紙定義は用紙名プルダウンから選択できます。あらかじめ登録しておく、アプリケーションから印刷するときドライバーの用紙設定が不要となるため便利です。

用紙定義をせずに、そのつど用紙サイズなどを設定したい場合は、基本設定タブの用紙名プルダウンからユーザー入力を選択します。基本設定タブ内の各種設定項目が有効になり、用紙サイズなどの設定ができるようになります。

2 用紙名

- 108 x 152.4mm - ダイカットラベル* (初期設定)
- ユーザー入力

*: 同梱されているロール紙の印刷に適した設定です。

3 ラベル幅

CW-C6020 Series の場合

21.4 ~ 112.0mm から指定可能

初期設定: 108.0mm

CW-C6520 Series の場合

21.4 ~ 215.9mm から指定可能

初期設定: 108.0mm

4 ラベル長さ

オートカッターモデルの場合

8 ~ 609.6mm から指定可能

初期設定: 152.4mm



参考

- 用紙をカットする間隔が 15.0mm 未満の場合には、紙詰まりが発生する可能性があるため、オートカットできません。15.0mm 未満のラベルをオートカットする場合は、印刷後紙動作設定で用紙をカットする間隔を 15.0mm 以上にしてください。([39 ページ「13 印刷後紙動作設定」](#))

ピーラーモデルの場合

12.7 ~ 609.6mm から指定可能

初期設定: 152.4mm

5 ラベル間距離

用紙形態が全面ラベル以外の場合

2 ~ 6mm

初期設定: 3mm

用紙形態が全面ラベルの場合

0 ~ 6mm

初期設定: 3mm

6 左右ギャップ

オートカッターモデルの場合

2 ～ 6mm の範囲で使用可能（基本は 2mm）

初期設定：2mm

ピーラーモデルの場合

2mm のみ使用可能

初期設定：2mm



参考

2mm より大きい場合、紙ジャムなどの不具合が発生する場合があります。

7 用紙形態

- ダイカットラベル（ギャップ基準）（初期設定）
- ダイカットラベル（ブラックマーク基準）
- 全面ラベル（ブラックマーク基準）
- 全面ラベル
- 連続紙（ブラックマーク基準）
- 連続紙

8 用紙節約

用紙形態で全面ラベルを選択したときのみ有効になります。

- 下節約
- 上下節約
- 節約なし（初期設定）

9 用紙種類

- 普通紙
- マット紙（初期設定）
- 合成紙
- 上質紙
- 光沢紙
- 光沢フィルム
- 高光沢紙

10 印刷品質

用紙種類が普通紙の場合

- ドラフト
- はやい（初期設定）
- 普通
- きれい

用紙種類がマット紙、合成紙、上質紙の場合

- ドラフト
- はやい
- 普通（初期設定）
- きれい

用紙種類が光沢紙、光沢フィルム、高光沢紙の場合

- 普通
- きれい（初期設定）
- 高精細



参考

用紙種類を変更すると、印刷品質は自動的に用紙に合った初期設定になります。

11 色補正方法

- あざやかな色合い（初期設定）
- ICM
- 色補正なし

12 特色設定

特色設定をしない（初期設定）

13 印刷後用紙動作設定

オートカッターモデルの場合

- カットする（最終ラベル印刷後）
- カットする（指定ラベル毎）
- カットする（部単位印刷の最終ページ）
- カットしない（カット位置で停止）（初期設定）
- カットしない（剥離位置で停止）
- カットしない（印刷終了位置で停止）



参考

[ラベル長さ]に15.0mm未満の値を設定した場合の注意事項

- 紙詰まりが発生する可能性があるため、オートカットできません。
- [印刷後用紙動作設定]の[カットする]選択肢は以下の3つとも選択できます。
 - カットする（最終ラベル印刷後）
 - カットする（指定ラベル毎）
 - カットする（部単位印刷の最終ページ）
- [印刷後用紙動作設定]-[カットする（指定ラベル毎）]-[カット間隔]が「1」の場合には、カットできる最低ラベル長さ（15.0mm）以上になるように、ドライバーが自動で[カット間隔]を「2」に変更します。
またカットできる最低ラベル長さ（15.0mm）未満にならないよう、[カット間隔]には「1」を設定できなくなります。

ピーラーモデルの場合

- 手貼り（初期設定）
- 自動貼り
- 巻き取り

14 ブザー設定

オートカッターモデルの場合

- なし（初期設定）
- カット後
- 最終ラベルのみ
- 部単位印刷の最終ページ

ピーラーモデルの場合

- なし（初期設定）
- 最終ラベルのみ
- 部単位印刷の最終ページ

15 一時停止設定

オートカッターモデルの場合

- なし（初期設定）
- カット後
- 最終ラベルのみ
- 部単位印刷の最終ページ

ピーラーモデルの場合

- なし（初期設定）
- 最終ラベルのみ
- 部単位印刷の最終ページ

16 用紙検出（ブラックマーク / ギャップ）

給紙方法

- 内部ロール紙（初期設定）
- 外部フィード

用紙検出

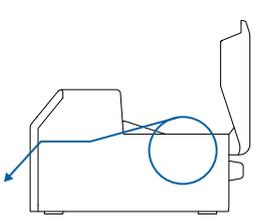
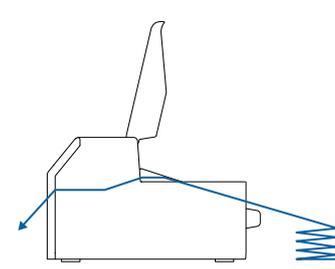
- ギャップ検出（初期設定）
- ブラックマーク検出
- 検出しない

用紙のセット・交換

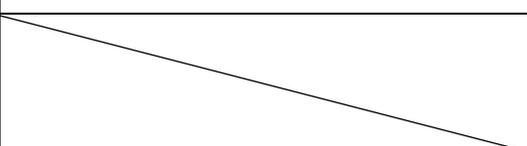
ここでは、用紙のセット・交換手順について説明します。用紙の交換方法は、次のように、交換前後の用紙のサイズと給紙形態（内部供給 / 外部供給）によって異なります。本章は動画でも手順を説明しています。

以下の URL から動画をご覧ください。

< https://support.epson.net/p_doc/790/ >

<p>内部供給 ロール紙をプリンター内部のスピンドルへセットし、本体内部から用紙を供給します。</p> 	<p>外部供給 ファンフォールド紙をプリンター後方へ置き、本体外部から用紙を供給します（オートカッターモデルのみ）。</p> 
--	--

 <p>重要</p>	<ul style="list-style-type: none"> 外部供給でロール紙をお使いになる場合は、お客様ご自身で外部装置（用紙供給装置・用紙巻き取り装置）をご用意ください。詳しくは CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。 ピーラーモデルでは、ファンフォールド紙を外部供給で使用できません。 用紙の形状や形態、種類を変更する際には、用紙をセットする前に操作パネルまたはプリンタードライバーで用紙設定を変更してください。（28 ページ「用紙の情報を確認する」、35 ページ「プリンタードライバーの設定」）
---	---

モデル	内部供給	外部供給
オートカッターモデル	<ul style="list-style-type: none"> 用紙のセット： 42 ページ 用紙の除去： 52 ページ 用紙エンド時の排紙： 54 ページ 	<ul style="list-style-type: none"> 用紙のセット： 45 ページ 用紙の除去： 52 ページ 用紙エンド時の排紙： 54 ページ
ピーラーモデル	<ul style="list-style-type: none"> 用紙のセット： 48 ページ 用紙の除去： 53 ページ 用紙エンド時の排紙： 55 ページ 	

用紙のセット (オートカッターモデル・内部供給の場合)



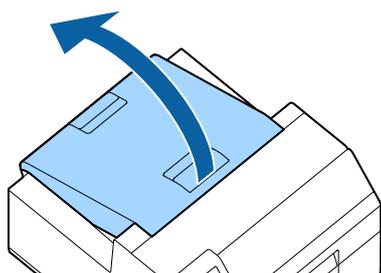
注意

プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

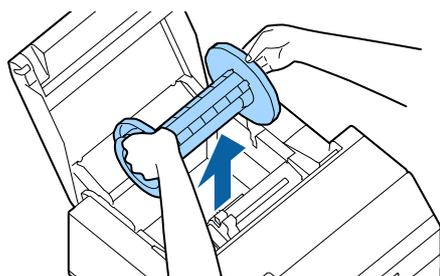
- 1** プリンターの電源を入れ、操作パネルで [給紙方法] が [内部供給] に設定されていることを確認します。

([28 ページ](#) 「用紙の情報を確認する」)

- 2** 用紙カバーを開けます。

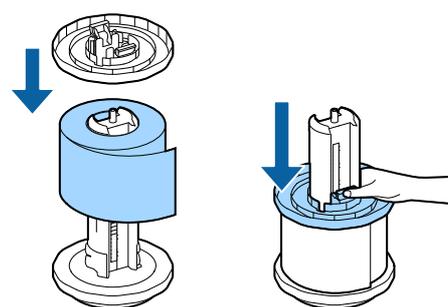


- 3** プリンターからスピンドルを取り外します。
図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



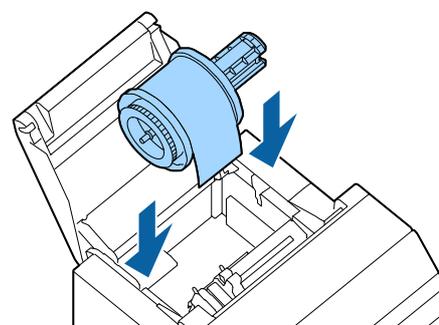
- 4** スピンドルにロール紙を差し込み、フランジで固定します。

- 2つのレバーを内側へつまむと、フランジの移動ができます。
- スピンドルへロール紙を挿入するときは、巻き方向に注意してください。正しい巻き方向はスピンドルに刻印されています。
- フランジとロール紙は隙間ができないように固定してください。



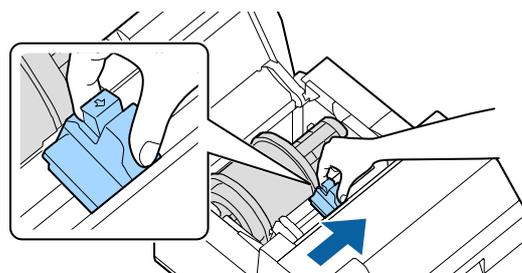
- 5** スピンドルを両手で持ち、プリンターへセットします。

スピンドルの両端をプリンター内部のホルダーにはめ込むように取り付けてください。

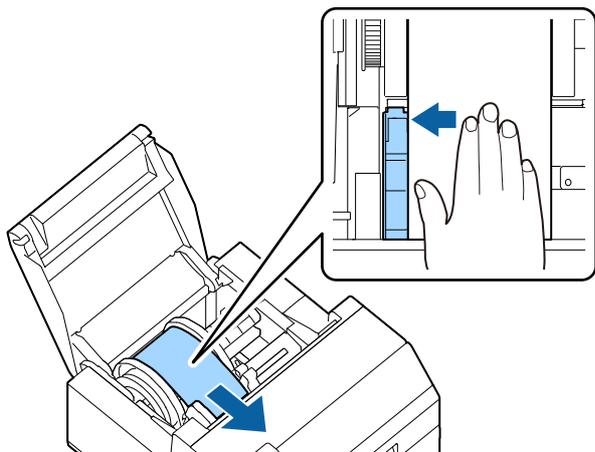


- 6** 用紙ガイド (可動) を広げます。

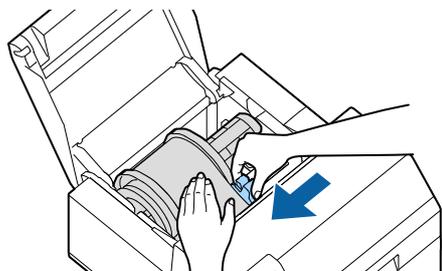
青いレバーをつまむと、用紙ガイド (可動) の移動ができます。



7 左の用紙ガイドに沿って用紙をセットします。



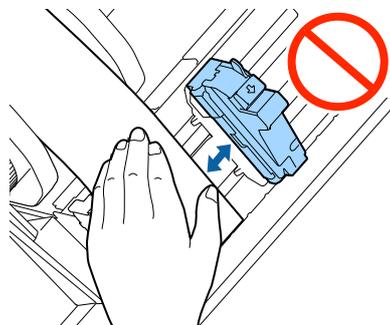
8 用紙が浮かないように手で用紙を押さえながら、用紙ガイド（可動）と用紙の端面がぴったり合うように調整します。



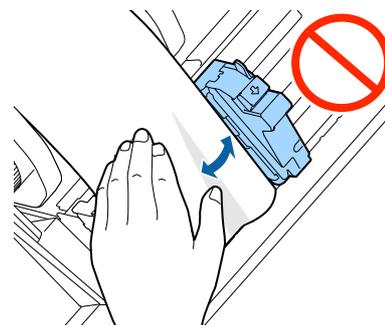
! 注意

用紙ガイド（可動）が用紙の端面に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因になります。以下の点に注意してください。

- 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間に隙間をあげない。

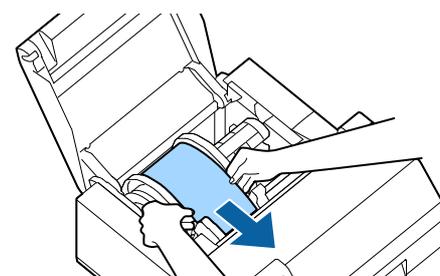


- 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない。

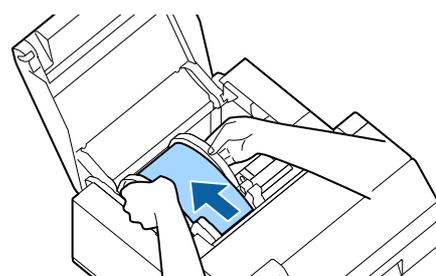


9 自動給紙が始まるまで給紙口へ用紙を挿入します。

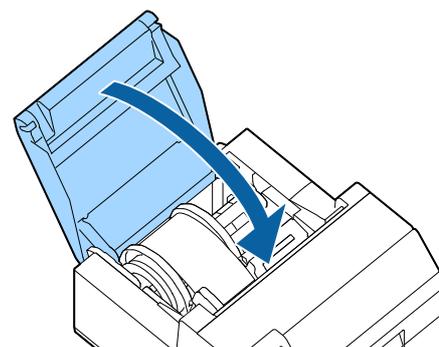
台紙のみの用紙を挿入しないでください。プリンターが用紙を検知できず、自動給紙が行われずおそれがあります。



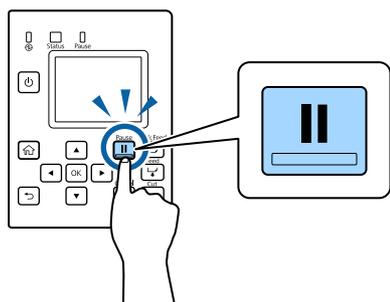
10 スピンドルを回転させて、用紙の緩みを取り除きます。



11 用紙カバーを閉めます。



12 Pause ボタンを押します。



以上で、用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合）は完了です。

用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合）

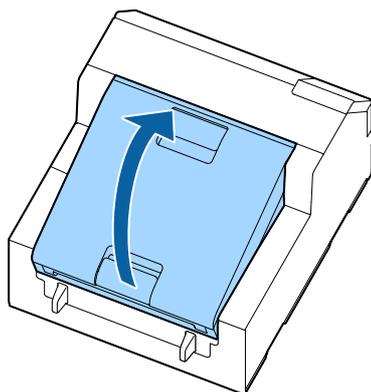
! 注意

プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

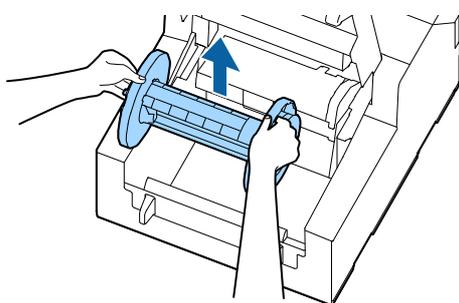
- 1 プリンターの電源を入れ、操作パネルで「給紙方法」が「外部供給」に設定されていることを確認します。

([28 ページ](#)「用紙の情報を確認する」)

- 2 用紙カバーを開けます。

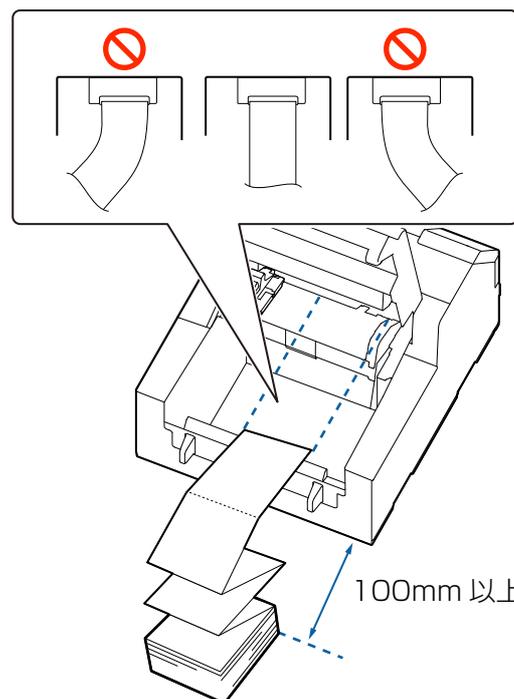


- 3 スピンドルがある場合は取り外します。
図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



- 4 本体後方へファンフォールド紙を置いてください。

- ファンフォールド紙を置く場合は、本体から100mm以上離してください。
- 用紙が給紙口に対して垂直であることを確認してください。

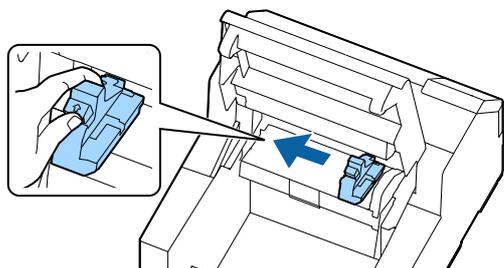
**!** 注意

ファンフォールド紙の給紙口付近で用紙が湾曲しないよう設置してください。用紙が変形し、紙詰まりや印字不良が発生する恐れがあります。

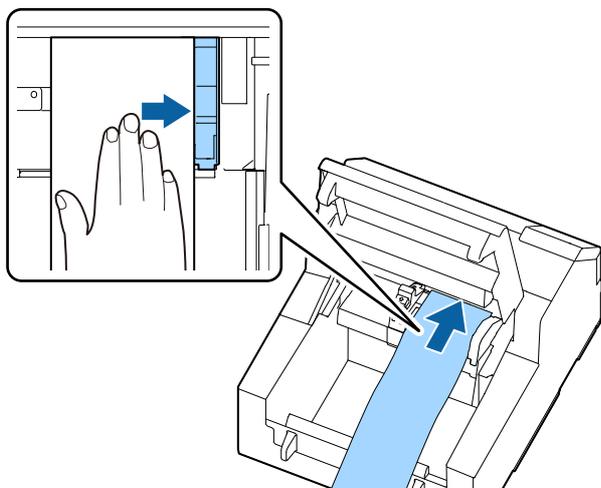


5 用紙ガイド（可動）を広げます。

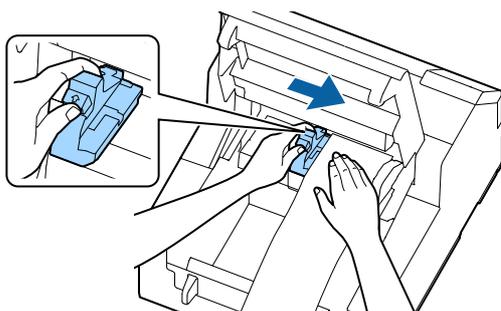
青いレバーをつまむと、用紙ガイド（可動）の移動ができます。



6 右の用紙ガイドに沿って用紙をセットします。



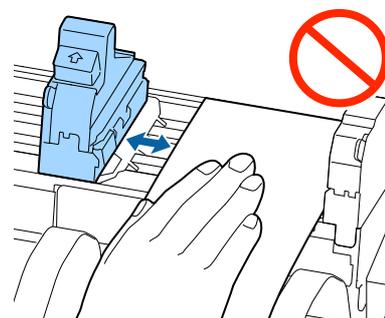
7 用紙が浮かないように手で用紙を押さえながら、用紙ガイド（可動）と用紙の端面がぴったり合うように調整します。



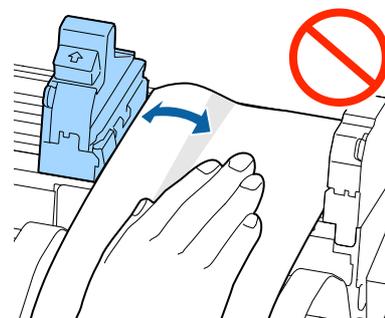
注意

用紙ガイド（可動）が用紙の端面に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因になります。以下の点に注意してください。

- 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間に隙間をあけない。

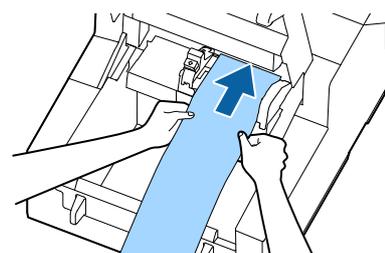


- 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない。

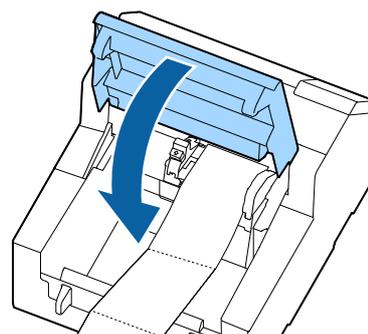


8 自動給紙が始まるまで給紙口へ用紙を挿入します。

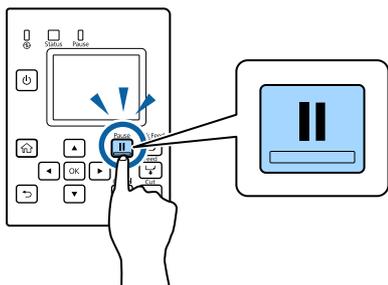
台紙のみの用紙を挿入しないでください。プリンターが用紙を検知できず、自動給紙が行われぬおそれがあります。



9 用紙カバーを閉めます。



10 Pause ボタンを押します。



以上で、用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合）は完了です。

用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給の場合）

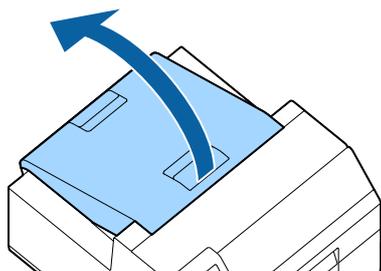
! 注意

プリンターの電源を入れた後、操作パネルにホーム画面が表示されるまで待ってから用紙カバーを開けてください。ホーム画面が表示される前にカバーを開けると、正しく用紙がセットできない場合があります。

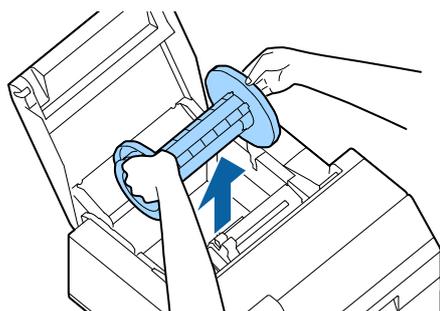
- 1** プリンターの電源を入れ、操作パネルで「給紙方法」が「内部供給」に設定されていることを確認します。

([28 ページ](#)「用紙の情報を確認する」)

- 2** 用紙カバーを開けます。

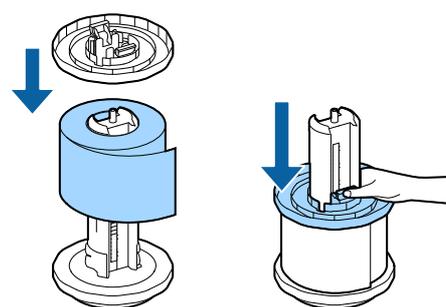


- 3** プリンターからスピンドルを取り外します。図のように両手でスピンドルとフランジを持ち、取り外してください。



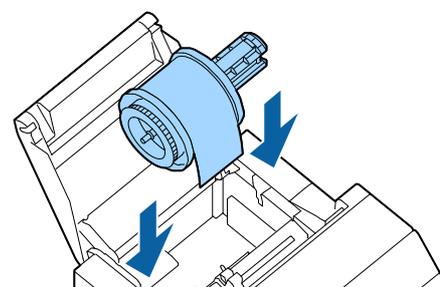
- 4** スピンドルにロール紙を差し込み、フランジで固定します。

- 2つのレバーを内側へつまむと、フランジの移動ができます。
- スピンドルへロール紙を挿入するときは、巻き方向に注意してください。正しい巻き方向はスピンドルに刻印されています。
- フランジとロール紙は隙間ができないように固定してください。



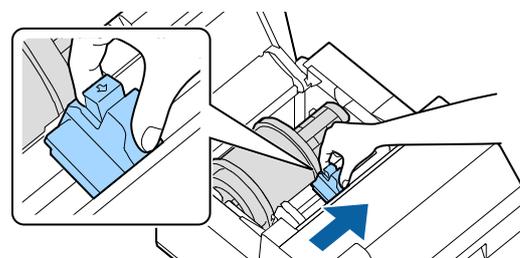
- 5** スピンドルを両手で持ち、プリンターにセットします。

スピンドルの両端をプリンター内部のホルダーにはめ込むように取り付けてください。

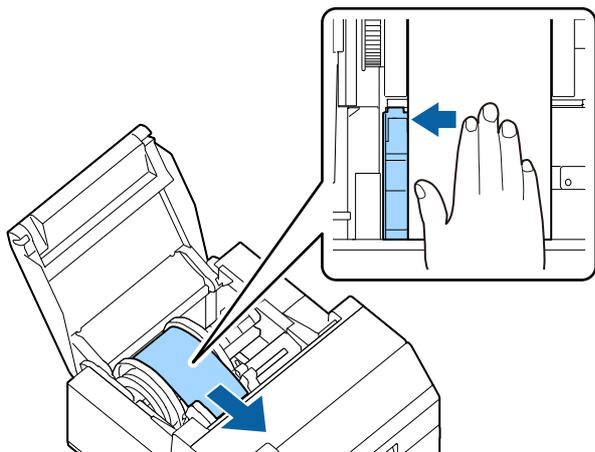


- 6** 用紙ガイド（可動）を広げます。

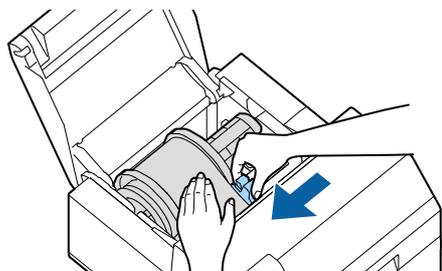
青いレバーをつまむと、用紙ガイド（可動）の移動ができます。



7 左の用紙ガイドに沿って用紙をセットします。



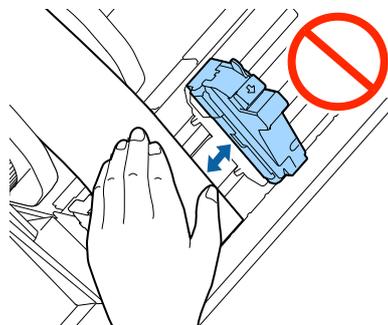
8 用紙が浮かないように手で用紙を押さえながら、用紙ガイド（可動）と用紙の端面がぴったり合うように調整します。



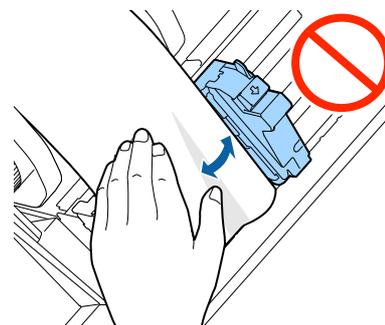
! 注意

用紙ガイド（可動）が用紙の端面に合っていないと、印字のズレや紙詰まりの原因になります。以下の点に注意してください。

- 用紙ガイド（可動）と用紙の端面との間に隙間をあげない。

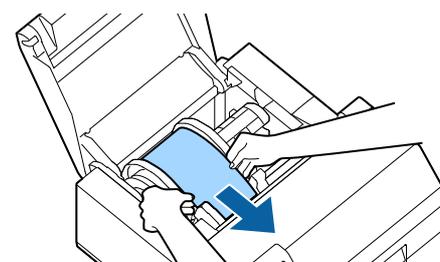


- 用紙ガイド（可動）を用紙の端面に強く押し付けない。

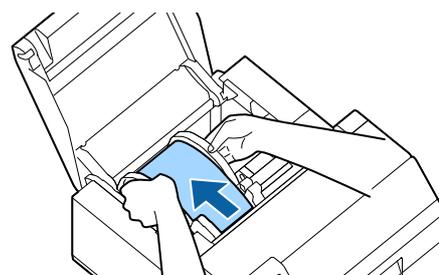


9 自動給紙が始まるまで給紙口へ用紙を挿入します。

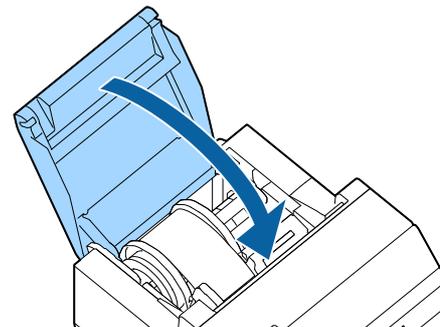
台紙のみの用紙を挿入しないでください。プリンターが用紙を検知できず、自動給紙が行われないうれがあります。



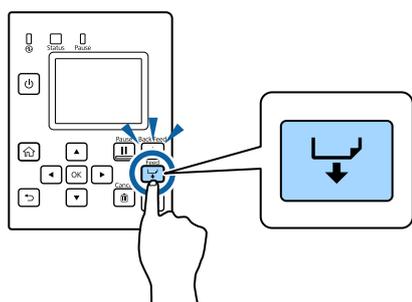
10 スピンドルを回転させて、用紙の緩みを取り除きます。



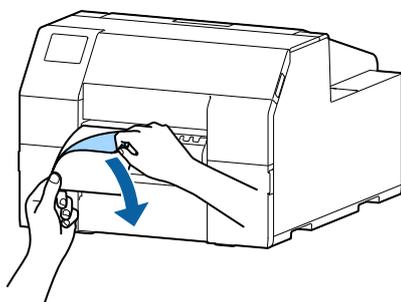
11 用紙カバーを閉めます。



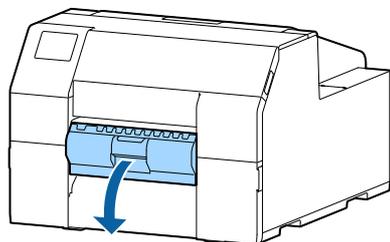
- 12** Feed ボタンを押します。
 プリンターを設置している台に用紙の先端が付くまでボタンを押します。



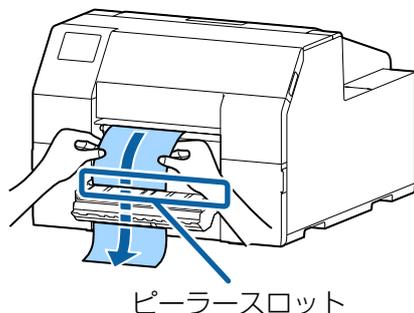
- 13** 排出した用紙についているラベルを剥がします。



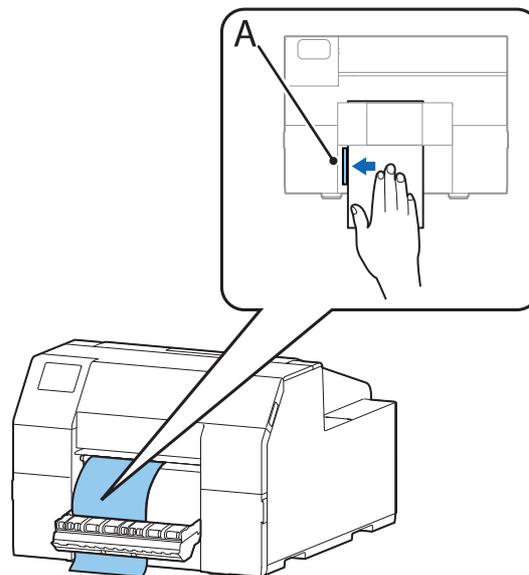
- 14** ピーラーカバーを開けます。



- 15** ピーラースロットへ用紙を通します。

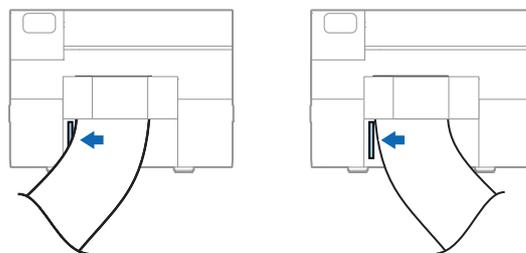


- 16** ピーラーカバーを閉じる前に A の突起に沿って用紙をセットしてください。

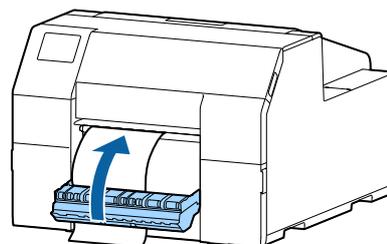


! 注意

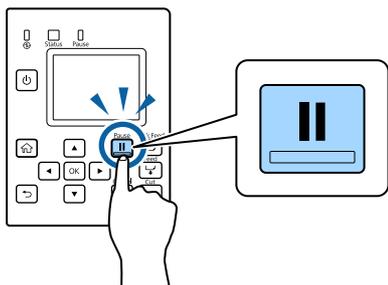
用紙が A の突起にぴったり合っていることを確認してください。



- 17** ピーラーカバーを閉めます。
 用紙が緩んでいる場合は、用紙の先端を引っ張り、緩みを取ってから閉じてください。



18 Pause ボタンを押します。

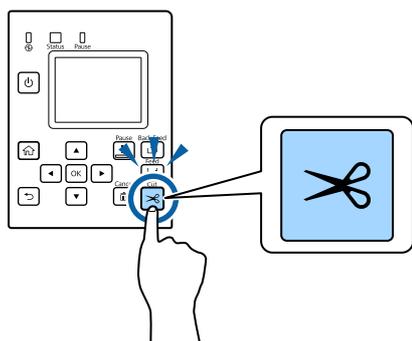


以上で、用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給の場合）は完了です。

用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）

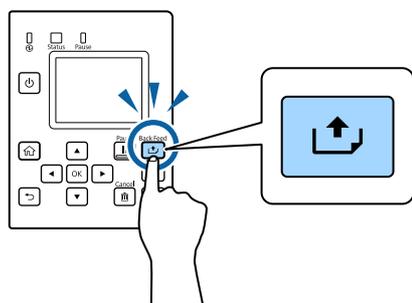
1 プリンターの電源がオンであることを確認します。

2 Cut ボタンを押し、排出されているラベルを切り取ります。

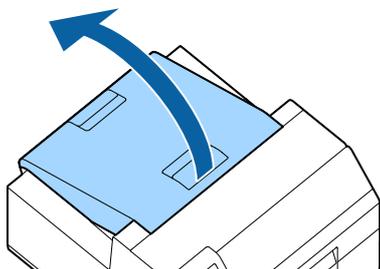


3 Back Feed ボタンを押し、用紙を後方へ送ります。

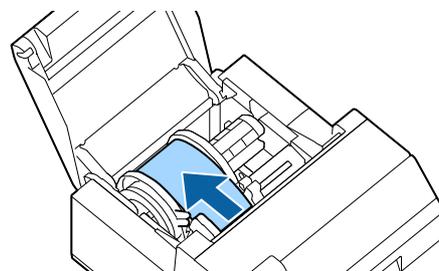
プリンター内部から用紙を引き抜けるようになります。



4 用紙カバーを開けます。



5 用紙ガイド（可動）を広げ、用紙を取り除きます。



6 用紙カバーを閉めます。

7 Pause ボタンを押します。

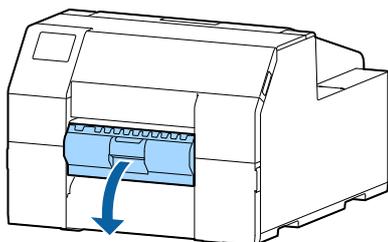
以上で用紙を取り除くは完了です。

引き続き用紙をセットする場合は、42 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合）」、45 ページ「用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合）」を参照してください。

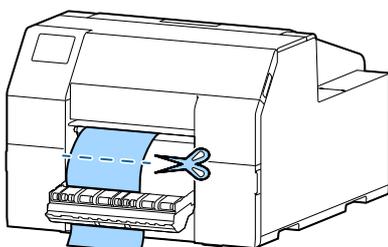
用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）

1 プリンターの電源がオンであることを確認します。

2 ピーラーカバーを開けます。

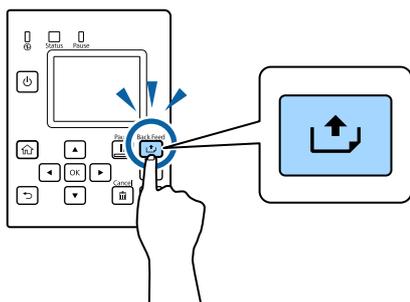


3 排紙口付近で台紙を切ります。

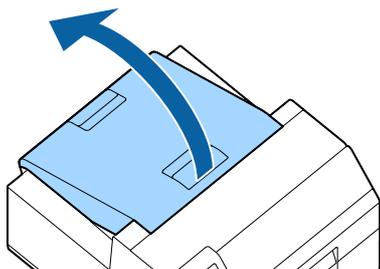


4 Back Feed ボタンを押し、用紙を後方へ送ります。

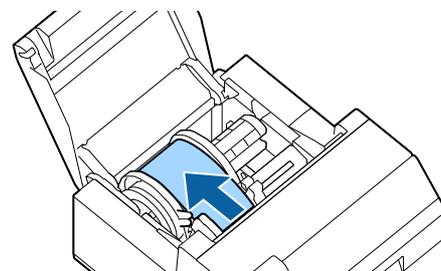
プリンター内部から用紙を引き抜けるようになります。



5 用紙カバーを開けます。



6 用紙ガイド（可動）を広げ、用紙を取り除きます。



7 用紙カバーを閉めます。

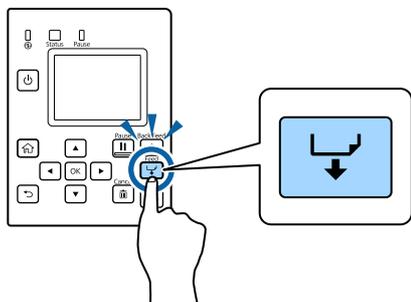
8 Pause ボタンを押します。

以上で用紙を取り除くは完了です。

引き続き用紙をセットする場合は、48 ページ「用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給の場合）」を参照してください。

用紙エンド時の排紙（オートカッターモデルの場合）

- 1 用紙が排出しきるまで Feed ボタンを押し続けます。

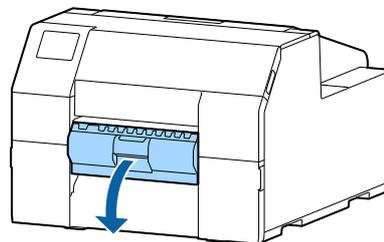


以上で用紙エンド時の排紙は完了です。

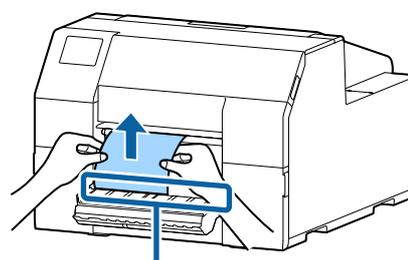
引き続き用紙をセットする場合は [42 ページ](#)「用紙のセット（オートカッターモデル・内部供給の場合）」、[45 ページ](#)「用紙のセット（オートカッターモデル・外部供給の場合）」を参照してください。

用紙エンド時の排紙（ピーラーモデルの場合）

1 ピーラーカバーを開けます。

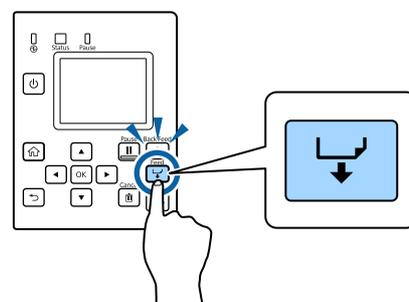


2 ピーラー SLOT から用紙を取り除きます。



ピーラー SLOT

3 用紙を排出しきるまで Feed ボタンを押し続けます。



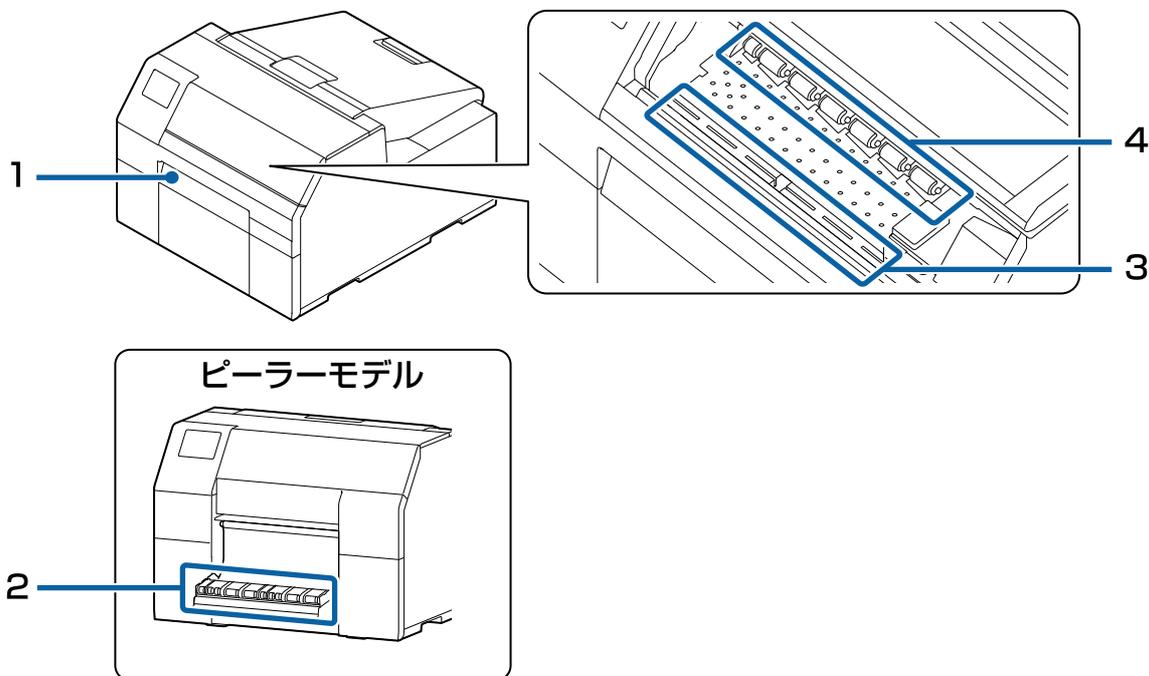
以上で用紙エンド時の排紙は完了です。

引き続き用紙をセットする場合は [48 ページ「用紙のセット（ピーラーモデル・内部供給の場合）」](#) を参照してください。

メンテナンス

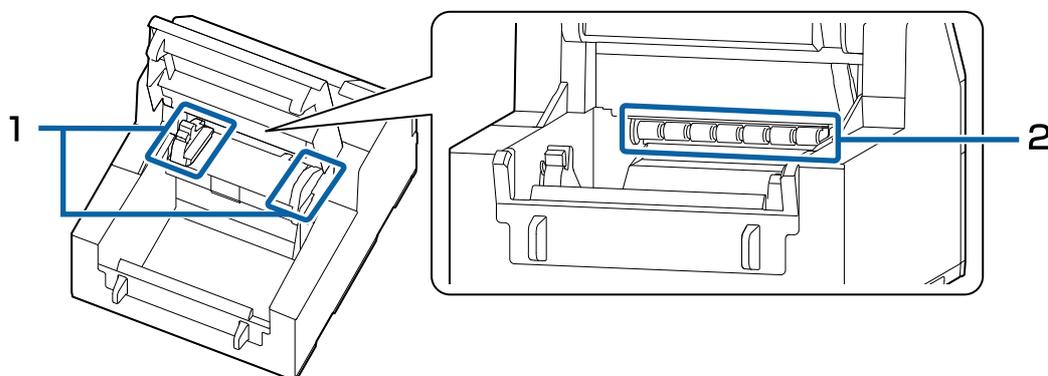
本章では、本製品のメンテナンス方法について説明しています。

前面



1	オートカッターのクリーニング (オートカッターモデルのみ) (58 ページ)
2	ピーラーのクリーニング (ピーラーモデルのみ) (59 ページ)
3	プラテンのクリーニング (61 ページ)
4	紙押さえローラーのクリーニング (63 ページ)

背面



1	用紙ガイド (固定と可動) のクリーニング (60 ページ)
2	紙送りローラーのクリーニング (62 ページ)

外装のクリーニング

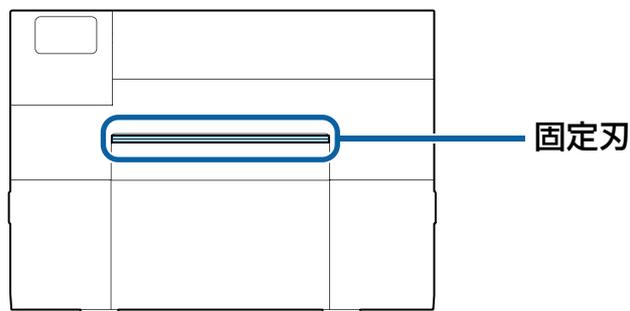
プリンターの電源を切ってから、乾いた布か湿らせた不織布で汚れを拭き取ってください。このとき、電源コードは必ずコンセントから抜いてください。



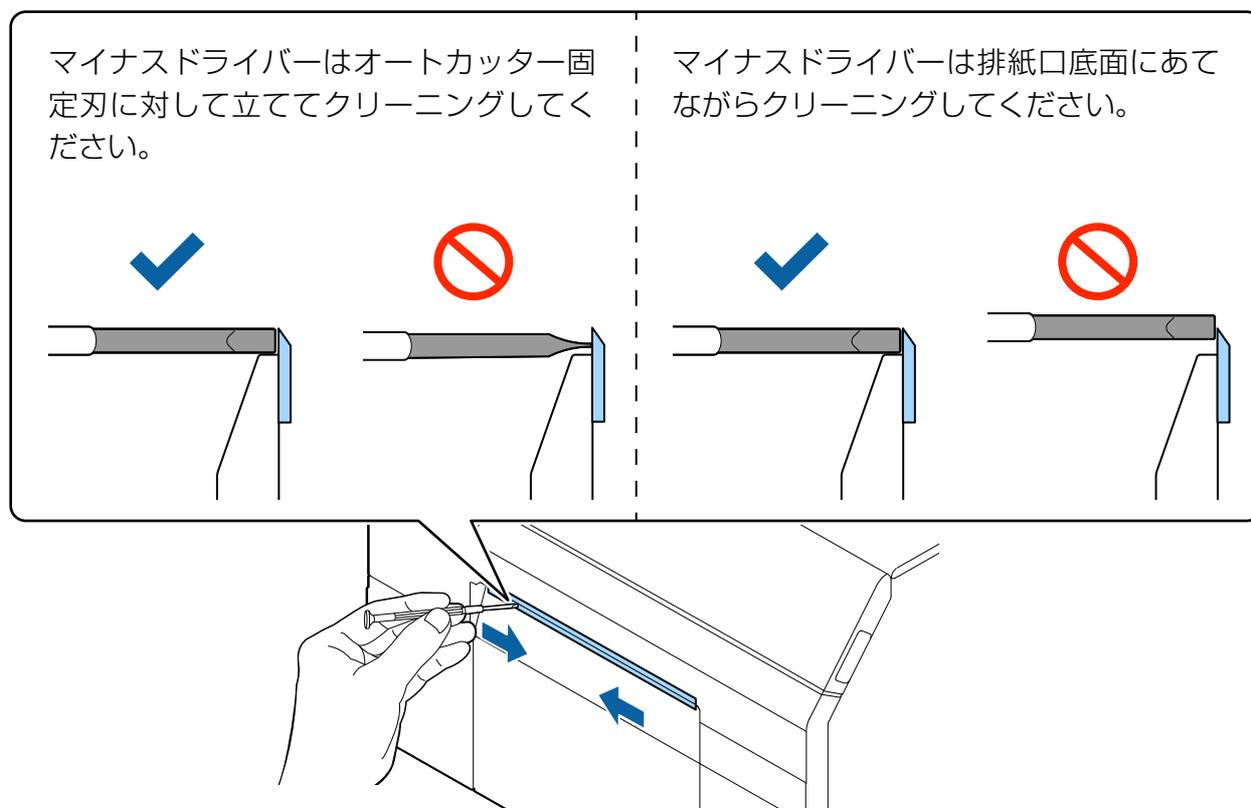
汚れを除去する際には、アルコール、ベンジン、シンナー、トリクレン、ケトン系溶剤は使用しないでください。
プラスチックおよびゴム部品を変質、破損させるおそれがあります。

オートカッターのクリーニング（オートカッターモデルのみ）

オートカッターの固定刃にラベルや紙粉・粘着物が付着していると、切れ味が鈍くなる場合があります。以下の手順でオートカッターの固定刃をクリーニングします。



- 1 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
(☞52 ページ「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」)
- 2 プリンターの電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜きます。
- 3 以下の図のように、マイナスドライバー（刃幅：1.8 mm～3 mm）を使用し、オートカッター固定刃に付着した粘着物を、両端から中央に向かって除去します。

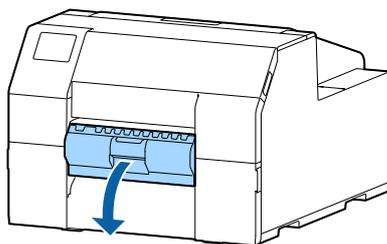


ピーラーのクリーニング（ピーラーモデルのみ）

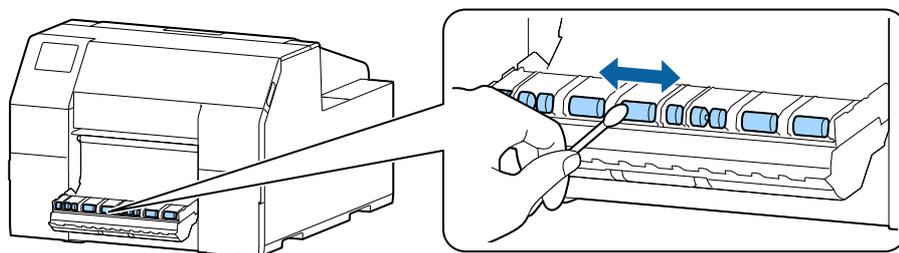
ピーラーにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、印刷品質が低下する可能性があります。良好な印刷品質を保つために、ピーラーを毎日清掃することをおすすめします。以下の手順でピーラーをクリーニングします。

1 プリンターの電源が切れていることを確認してください。

2 ピーラーカバーを開けます。
用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
([53 ページ「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」](#))



3 アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、ローラーをクリーニングします。
ローラーについた汚れはすべて取り除いてください。

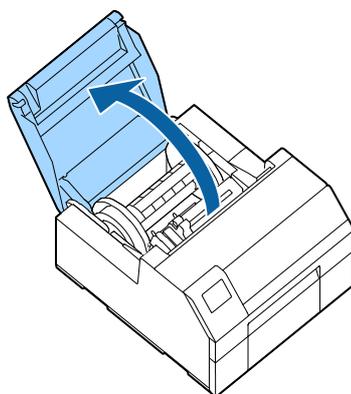


用紙ガイド（固定と可動）のクリーニング

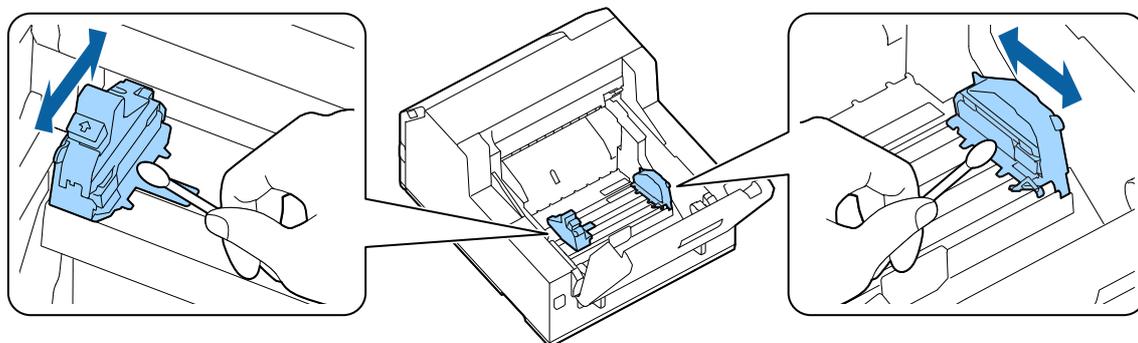
用紙ガイドにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がずれたりする可能性があります。

以下の手順で用紙ガイドをクリーニングします。

- 1 プリンターの電源が切れていることを確認してください。
- 2 用紙カバーを開けます。
用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
([52 ページ](#)「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」、[53 ページ](#)「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合)」)



- 3 アルコールを染み込ませた綿棒を使用し、用紙ガイドに付着した紙粉・粘着物を取り除きます。

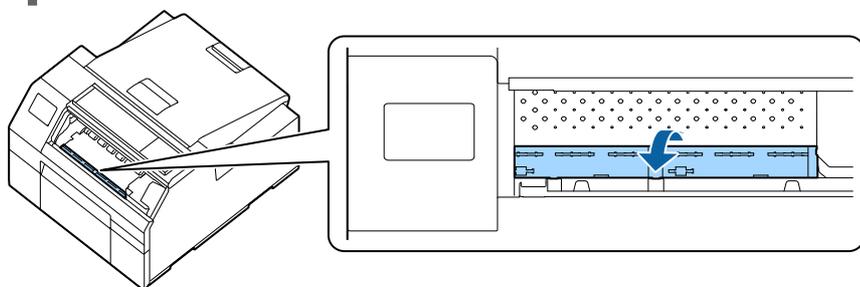


プラテンのクリーニング

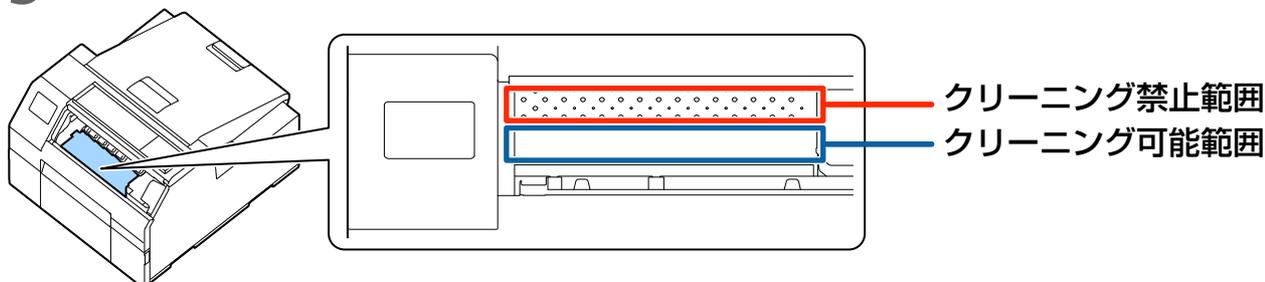
プラテンにラベルや紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がずれたりする可能性があります。

以下の手順でプラテンをクリーニングします。

- 1 プリンターの電源が切れていることを確認します。
- 2 用紙がセットされている場合は用紙を取り除きます。
([52 ページ](#)「用紙を取り除く（オートカッターモデルの場合）」、[53 ページ](#)「用紙を取り除く（ピーラーモデルの場合）」)
- 3 前面カバーを開けます。
- 4 用紙押さえユニットを開けます。



- 5 布や綿棒でプラテンに付着した粘着剤を取り除きます。



- 6 用紙押さえユニットを閉めます。

紙送りローラーのクリーニング

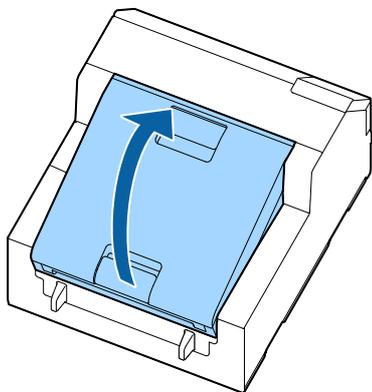
紙送りローラーに紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がかすれたりします。以下の手順でクリーニングします。



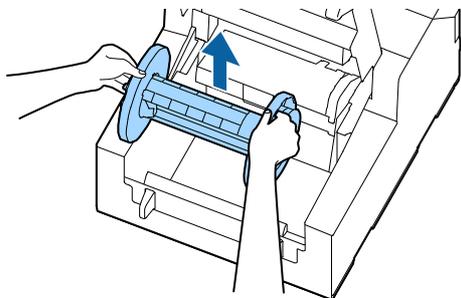
注意

紙送りローラーをクリーニングするときに、ラベル以外の物を使用しないでください。紙送りローラーが傷つき、用紙が詰まったり、印刷結果がかすれたりする可能性があります。

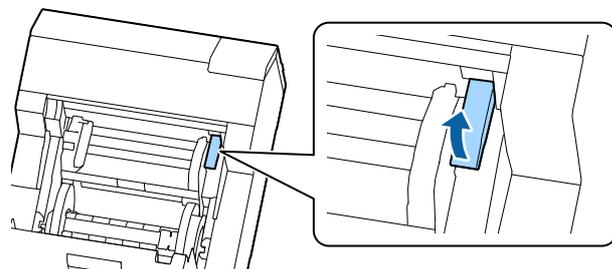
- 1 プリンターの電源が切れていることを確認します。
- 2 用紙カバーを開けます。
用紙をセットしている場合は用紙を取り除いてください。
([52 ページ](#)「用紙を取り除く (オートカッターモデルの場合)」、[53 ページ](#)「用紙を取り除く (ピーラーモデルの場合)」)



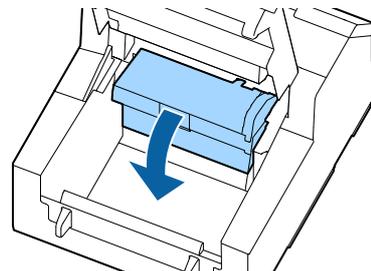
- 3 スピンドルを取り外します。



- 4 レリーズレバーを上げます。

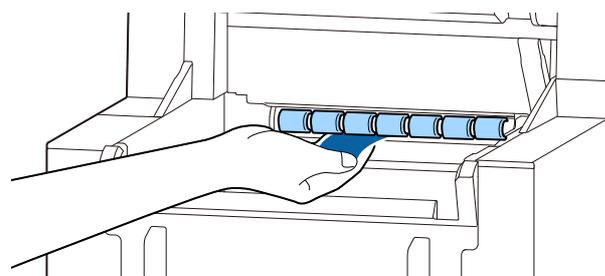


- 5 用紙ガイドユニットを開けます。

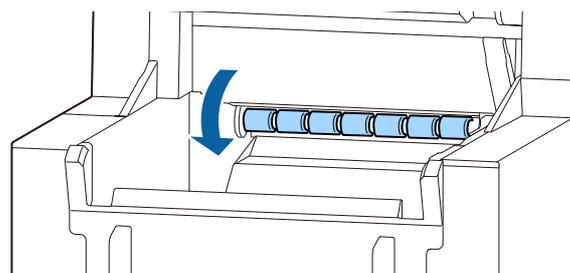


- 6 ラベルの粘着面をローラー表面に貼り付けてゆっくり剥がします。ローラーに付着した粘着物が取り除かれるまで何度も繰り返し、端から端までクリーニングします。

ローラーに貼り付いてしまっているラベルがあれば取り除いてください。用紙詰まりの原因になります。



- 7 ローラーを手で回転させながら、付着した紙粉や粘着物を取り除き、ローラー全体をクリーニングします。



紙押さえローラーのクリーニング

紙押さえローラーに紙粉・粘着物が付着していると、紙詰まりが発生したり、印刷結果がかすれたりします。

以下の手順でクリーニングします。



注意

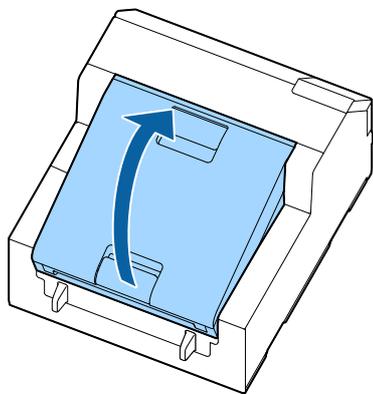
紙押さえローラーをクリーニングするときに、ラベル以外の物を使用しないでください。紙押さえローラーが傷つき、用紙が詰まったり、印刷結果がかすれたりする可能性があります。

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

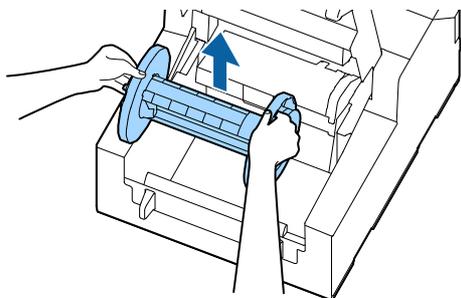
2 用紙カバーを開けます。

用紙をセットしている場合は用紙を取り除いてください。

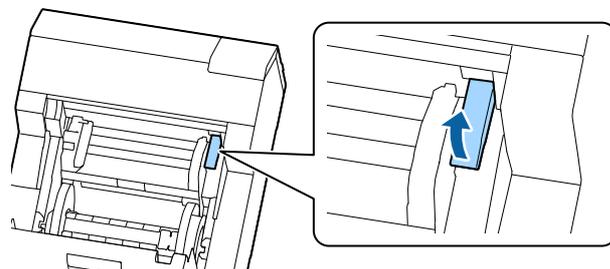
([52 ページ](#)「用紙を取り除く (オートカッターモデルの場合)」、[53 ページ](#)「用紙を取り除く (ピーラーモデルの場合)」)



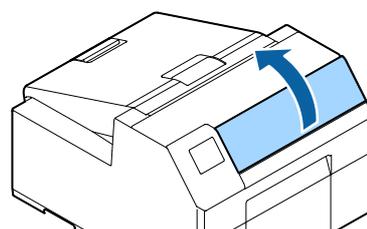
3 スピンドルを取り外します。



4 レリーズレバーを上げます。

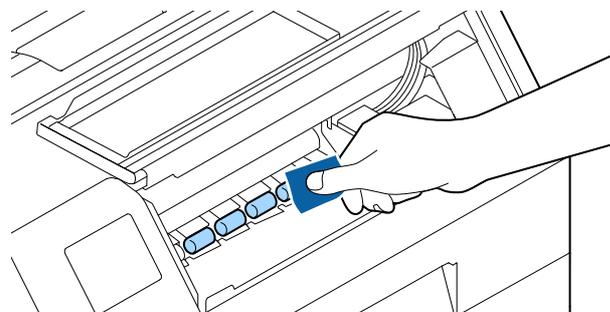


5 前面カバーを開きます。

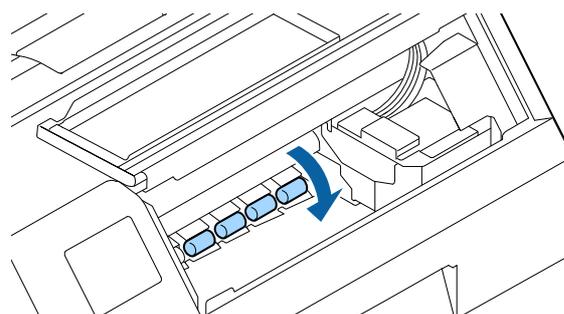


6 ラベルの粘着面をローラー表面に貼り付けてゆっくり剥がします。ローラーに付着した粘着物が取り除かれるまで何度も繰り返し、端から端までクリーニングします。

ローラーに貼り付いてしまっているラベルがあれば取り除いてください。用紙詰まりの原因になります。



7 ローラーを手で回転させながら、付着した紙粉や粘着物を取り除き、ローラー全体をクリーニングします。

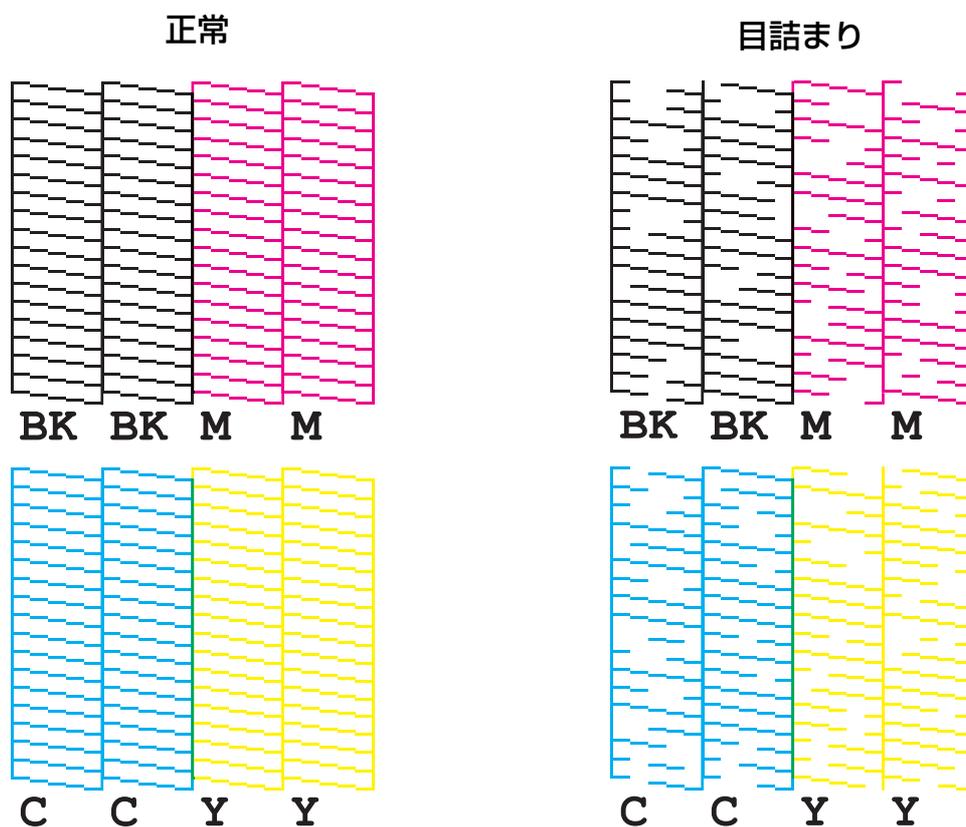


プリントヘッドのクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェックパターンを印刷してノズルの目詰まりを確認してください。

([29 ページ](#)「ノズルチェックパターンの印刷」)

例：フォトインク仕様のノズルチェックパターン



ノズルが目詰まりしているときはプリントヘッドのクリーニングをしてください。プリントヘッドのクリーニングを実行してもノズル抜けが改善しないときは、強力クリーニングを行ってください。

以下の手順でプリントヘッドのクリーニングができます。



参考

強力クリーニングはプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクを消費します。

操作パネルから実行する

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのクリーニング]

[Menu] - [プリンターのお手入れ] - [強力クリーニング]

プリンタードライバーから実行する

[プリンターユーティリティ] タブの、[プリントヘッドのクリーニング] または [強力クリーニング] をクリックします。

WebConfig から実行する

[メンテナンス] タブの [ヘッドクリーニング] を選択します。クリーニングの種類を [自動] または [強力クリーニング] から選択した後で [開始] をクリックします。



参考

- WebConfig にログインするには、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。
- プリンター本体の管理者パスワードを設定済みの場合には、ユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名：空白または任意の文字列（ログインに使用されないため任意に設定できます。）
パスワード：プリンター本体に設定済みの任意の文字列
- プリンター本体の管理者パスワードが未設定の場合には、初めて WebConfig にアクセスする際にユーザー名と管理者パスワードの設定が必要です。
この時設定したパスワードは、プリンター本体の管理者パスワードとしても設定されます。
ユーザー名：空白または任意の文字列（ユーザー名として設定したものが以降のログインに使用されます。）
パスワード：任意の文字列

困ったときは

本章では、トラブルが発生した時の対処方法を説明しています。

ここに記載されていないトラブルについては、CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。

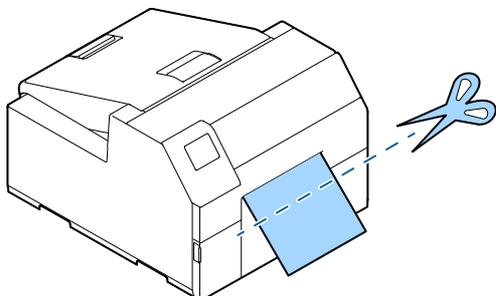
用紙が詰まった

紙詰まりが発生した場合の対処法を説明します。本項目は動画でも案内されています。以下のリンクから動画を参照してください。

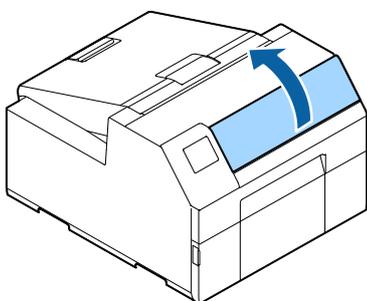
(https://support.epson.net/p_doc/790/)

オートカッターモデルの場合

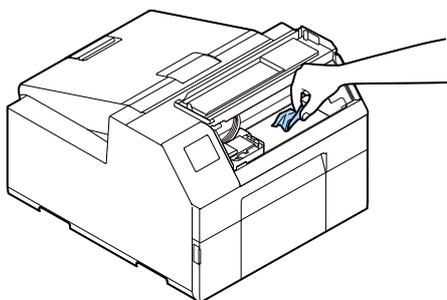
- 1** 排紙口付近で用紙をカットします。



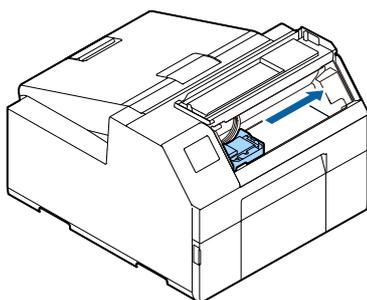
- 2** 前面カバーを開けます。



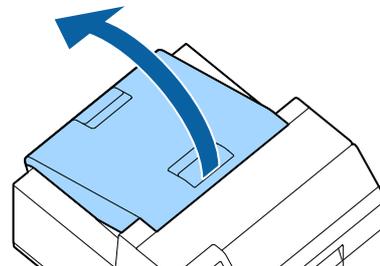
- 3** プラテンにちぎれた用紙があれば取り除きます。



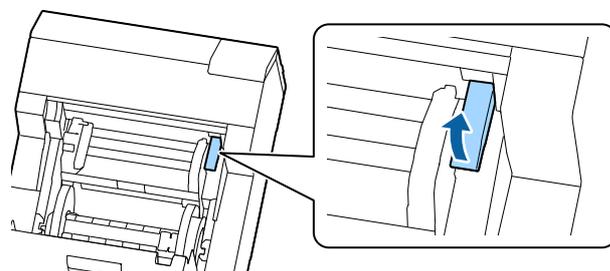
- 4** プリントヘッドが右端に戻っていないときは、手で押しながら右端に移動させます。
プリントヘッドが停止した位置に詰まった用紙があれば取り除いてください。



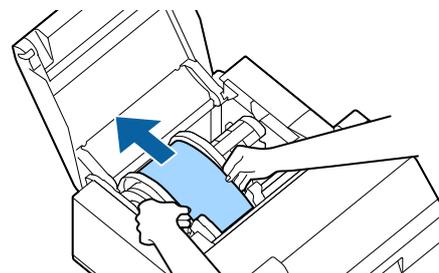
- 5** 用紙カバーを開けます。



- 6** レリーズレバーを上げます。



- 7** 給紙口から用紙を引き抜きます。



- 8** レリーズレバーを下げます。

- 9** 用紙カバーを閉めます。

- 10** 前面カバーを閉めます。

- 11** Pause ボタンを押します。
紙詰まりエラーが解除されます。

印刷を再開する場合は、再度用紙をセットしてください。

([42](#) ページ「用紙のセット (オートカッターモデル・内部供給の場合)」、[45](#) ページ「用紙のセット (オートカッターモデル・外部供給の場合)」)

この手順を実施しても紙詰まりを解消できない場合は、CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。



参考

詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。

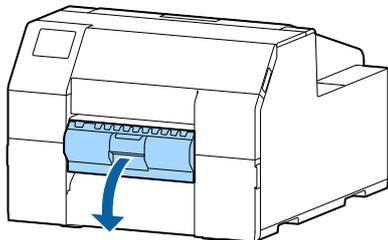
内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。

頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。

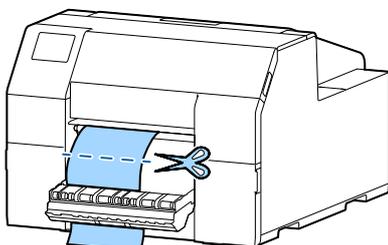
([56 ページ](#)「メンテナンス」)

ピーラーモデルの場合

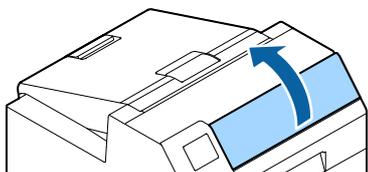
- 1 ピーラーカバーを開けます。



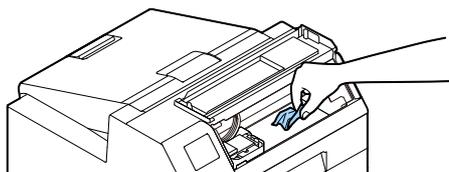
- 2 排紙口付近で用紙をカットします。



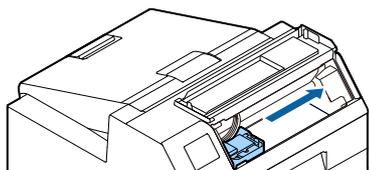
- 3 前面カバーを開けます。



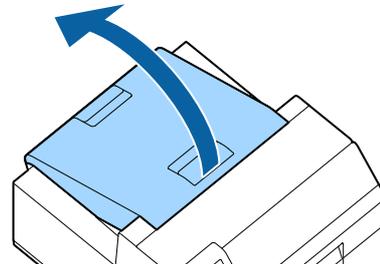
- 4 プラテンにちぎれた用紙があれば取り除きます。



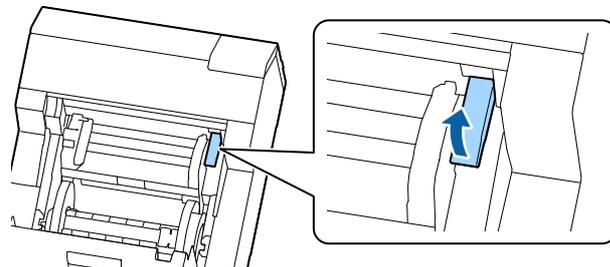
- 5 プリントヘッドが右端に戻っていないときは、手で押しながら右端に移動させます。
プリントヘッドが停止した位置に詰まった用紙があれば取り除いてください。



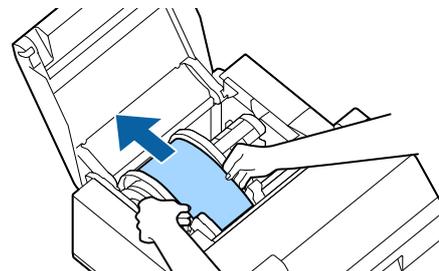
- 6 用紙カバーを開けます。



- 7 レリーズレバーを上げます。



- 8 給紙口から用紙を引き抜きます。



- 9 レリーズレバーを下げます。

- 10 用紙カバーを閉めます。

- 11 前面カバーを閉めます。

- 12 ピーラーカバーを閉めます。

- 13 Pause ボタンを押します。
紙詰まりエラーが解除されます。

印刷を再開する場合は、再度用紙をセットしてください。

([48 ページ](#)「用紙のセット (ピーラーモデル・内部供給の場合)」)

この手順を実施しても紙詰まりを解消できない場合は、CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。



詰まった用紙を取り除いたら、プリンター内部にラベルや粘着物が残っていないか確認してください。

内部にラベルや粘着物が残ったまま使用すると、用紙が詰まりやすくなったり、印刷品質が低下したりする原因になります。

頻繁に用紙が詰まるときは、プリンター内部のクリーニングを実施してください。

([56 ページ](#)「メンテナンス」)

印刷品質に問題がある

横方向に白スジが印刷される

原因	対処方法と参照先
ドット抜けが発生しています。	ノズルチェックを使用して、ノズルの目詰まりを確認してください。(☞29 ページ「ノズルチェックパターンの印刷」) ノズルの目詰まりが発生している場合、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。(☞64 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)

縦方向に白抜けが発生する (オートカッターモデル)

原因	対処方法と参照先
印刷したラベルをバックフィードしています。	印刷したラベルをそのままバックフィードすると、用紙押さえユニット下のローラーがラベルを踏みつけ、印刷品質が劣化します。 印刷モードが「カットしない (カット位置で停止)」か「カットしない (剥離位置で停止)」の場合で、1ジョブごとにラベルを取り除かないときに発生します。 印刷モードを「カットしない (カット位置で停止)」「カットしない (剥離位置で停止)」以外に設定するか、1ジョブごとにラベルを取り除いてください。 印刷モードについて、詳しくは CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。

白スジや黒スジが印刷される

原因	対処方法と参照先
用紙が正しくセットされていません。	用紙をセットし直してください。(☞41 ページ「用紙のセット・交換」)
お使いの用紙と用紙種類設定が合っていない。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。(☞35 ページ「プリンタードライバーの設定」)

印刷された色がおかしい

原因	対処方法と参照先
初期充填後にプリンターを移動させた場合、振動や衝撃により、指定した色が出ない場合（混色）があります。	プリントヘッドのクリーニングを実行して混色がなくなることを確認してください。（ ☞ 64 ページ「プリントヘッドのクリーニング」 ）

印刷位置がずれる

原因	対処方法と参照先
用紙ガイド幅と用紙幅が合っていません。	用紙ガイド幅が用紙幅に合っているか確認してください。（ ☞ 41 ページ「用紙のセット・交換」 ）
お使いの用紙が斜めにセットされています。（ピーラーモデル）	ピーラーカバーの下にある突起に用紙の端があっていることを確認してください。（ ☞ 41 ページ「用紙のセット・交換」 ）

用紙が汚れる・インクが付着する

原因	対処方法と参照先
お使いの用紙と用紙種類設定が合っていません。	お使いの用紙とプリンタードライバーの用紙種類設定をご確認ください。（ ☞ 35 ページ「プリンタードライバーの設定」 ）
ヘッドに異物が付着している場合、用紙が汚れることがあります。	プリントヘッドのクリーニングを実行してしてください。（ ☞ 64 ページ「プリントヘッドのクリーニング」 ）

用紙をセットしたら、用紙が送り出されてエラーになる

原因	対処方法と参照先
お使いの用紙と用紙検出設定が合っていません。	お使いの用紙とプリンターの用紙検出設定を確認してください。（ ☞ 35 ページ「プリンタードライバーの設定」 ）

印刷できない / 急に印刷できなくなった

データを送信しても印刷できないとき（ピーラーモデル）

原因	対処方法と参照先
ラベル剥離検出器が誤動作しています。	直射日光など強い光が当たる場所で印刷していると、ラベル剥離検出器が誤動作して印刷を実行しない状態になる場合があります。 Peeler Reset ボタンを押すことで、印刷を実行しない状態を解除できます。

コンピューターから印刷できない / 急に印刷できなくなった

プリンタードライバーのインストール確認

コンピューターに必要なソフトウェア、アプリケーションがインストールされているか確認します。

本製品で印刷するには、プリンタードライバーが必要です。プリンタードライバーがインストールされているかは、以下のように確認します。

- 1 コンピューターのデバイスとプリンターを表示します。
- 2 本製品のプリンター名が表示されているか確認します。
表示されていない場合、プリンタードライバーがインストールされていません。
- 3 プリンタードライバーをインストールします。
([4 ページ](#) 「[最新版のダウンロード](#)」)

電源がオンにならない

電源ケーブルが本体とコンセントに正しく接続されているか確認します。 ([21 ページ](#) 「[本体背面](#)」)

PC 上で印刷キャンセルしても本体パネル表示が「印刷中」のまま動かない

コンピューター上で「印刷ジョブの表示」画面から印刷ジョブのキャンセルを行った場合、データが途中で途切れ、プリンター本体のパネル表示が「印刷中」のままとなる可能性があります。

この状態を解除するには、操作パネルの Cancel ボタンを押し、[全フォーマットキャンセル] を行ってください。

画面にメッセージが表示された

画面表示	対処方法と参照先
案内 給紙に失敗しました。 ファンフォールド紙をセットするか、給紙方法を変更してください。	[給紙方法]、[用紙形態]の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて[給紙方法]、[用紙形態]を設定し直してください。 (👉35 ページ「プリンタードライバーの設定」)
案内 ロール紙を検出できません。 セットし直すか、用紙検出方法を変更してください。	[用紙検出方法]の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて[用紙検出方法]を設定し直してください。 (👉35 ページ「プリンタードライバーの設定」)
案内 ファンフォールド紙を検出できません。 セットし直すか、用紙検出方法を変更してください。	[用紙検出方法]の設定に合った用紙を使用してください。または、用紙に合わせて[用紙検出方法]を設定し直してください。 (👉35 ページ「プリンタードライバーの設定」)
(ホーム画面上) 用紙をセットしてください。	用紙をセットしてください。 (👉41 ページ「用紙のセット・交換」)
案内 セットされた用紙のサイズが正しくありません。 用紙を交換してください。	印刷領域のサイズにあった用紙をセットしてください。または、用紙サイズに合わせて印刷領域を設定してください。 (👉41 ページ「用紙のセット・交換」)
案内 ロール紙がセットされていません。	ロール紙をセットしてください。 (👉41 ページ「用紙のセット・交換」)
案内 ファンフォールド紙がセットされていません。	ファンフォールド紙をセットしてください。 (👉41 ページ「用紙のセット・交換」)
案内 用紙が詰まりました。	紙詰まりを取り除いた後、用紙をセットしてください。 (👉66 ページ「用紙が詰まった」)

画面表示	対処方法と参照先
<p>案内 用紙のセット手順が正しくありません。 用紙ガイド上から用紙を取り除き、用紙カバーを閉めて、Pause ボタンを押してください。</p>	<p>セットしている用紙を取り除いた後、再度用紙をセットしてください。 (52 ページ「用紙を取り除く (オートカッターモデルの場合)」 または 53 ページ「用紙を取り除く (ピーラーモデルの場合)」) (41 ページ「用紙のセット・交換」) 用紙のセット時にこのエラーが発生した場合 次の手順で用紙をセットし直してください。 用紙カバーを開ける→用紙ガイド上から用紙を取り除く→用紙カバーを閉める→Pause ボタンを押す 操作パネルにホーム画面が表示されたらカバーを開けて用紙をセットしてください。(41 ページ「用紙のセット・交換」) 上記を実施してもエラーが改善しない場合、ギャップ検出器の位置が正しいか確認してください。ギャップ検出器の操作については、CW-C6020 Series/CW-C6520 Series 詳細取扱説明書を参照してください。</p>
<p>案内 キャリブレーションに失敗しました。 [了解] を押してから、用紙をセットしなおすか用紙を変更してください。</p>	<p>設定している検出器に用紙が対応しているか確認し、用紙をセットし直してください。(41 ページ「用紙のセット・交換」) 再度エラーが発生する場合は、検出器の特性上お使いの用紙に対応できません。用紙を変更してください。</p>
<p>案内 カット済みのため、カットできません。</p>	<p>一度カットした位置でもう一度カットボタンを押すと表示されます。 印刷するか、フィードボタンを押して用紙を送り出すことでカットできるようになります。</p>
<p>メンテナンスエラー カートリッジが正しくセットされていません。</p>	<p>十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (32 ページ「インクカートリッジの交換手順」)</p>

画面表示	対処方法と参照先
(ホーム画面上でインク残量に[!]が付く)	<p>インクカートリッジ交換時期が近いため、交換用のインクカートリッジを準備します。</p> <p>インクの残量が少なくなったインクカートリッジを使い続けると、印刷途中でインクカートリッジの交換が必要になることがあります。</p> <p>印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。</p> <p>許容できないときは、事前に新品のインクカートリッジと交換して印刷することをお勧めします。</p> <p>(☞32 ページ「インクカートリッジの交換手順」)</p> <p>取り外したインクカートリッジは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。</p>
案内 インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	<p>十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。</p> <p>(☞32 ページ「インクカートリッジの交換手順」)</p>
メンテナンスエラー カートリッジが認識できません。 対応方法をご確認ください。	<p>インクカートリッジを取り付け直してください。</p> <p>再度エラーが発生する場合は、新しいインクカートリッジに交換してください。</p> <p>(☞32 ページ「インクカートリッジの交換手順」)</p>
案内 純正品ではありません。	<p>プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。</p> <p>純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。</p> <p>純正品以外の品質や信頼性について保証できません。</p> <p>非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。</p>
案内 本製品用のカートリッジではありません。	<p>本製品用ではありません。カートリッジが認識されないなどのエラーが発生する可能性があります。</p>
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが装着されていません。 型番：SJMB6000/6500	<p>新しいメンテナンスボックスを取り付けてください。</p> <p>(☞34 ページ「メンテナンスボックスの交換手順」)</p>
メンテナンスエラー メンテナンスボックスが認識できません。 型番：SJMB6000/6500	<p>メンテナンスボックスを取り付け直してください。</p> <p>再度エラーが発生する場合は、新しいメンテナンスボックスに交換してください。</p> <p>(☞34 ページ「メンテナンスボックスの交換手順」)</p>

画面表示	対処方法と参照先
<p>(ホーム画面上) メンテナンスボックスの交換時期が近づいています。</p>	<p>メンテナンスボックス交換時期が近いので、交換用メンテナンスボックスを準備します。 「メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。ボックスの交換が必要です。」と画面に表示されたら、メンテナンスボックスを交換してください。 (☞ 34 ページ「メンテナンスボックスの交換手順」)</p>
<p>メンテナンスエラー メンテナンスボックスの空き容量がなくなりました。 ボックスの交換が必要です。 型番：SJMB6000/6500</p>	<p>交換用メンテナンスボックスを取り付けてください。 (☞ 34 ページ「メンテナンスボックスの交換手順」)</p>
<p>案内 メモリー不足のため印刷できませんでした。</p>	<p>不要なファイルを削除してください。</p>
<p>プリンターエラー 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXXXX</p>	<p>1. 製品の電源を切ります。 2. 排紙口付近に紙詰まりや異物がないことを確認します。 3. 製品の電源を入れます。 再度プリンターエラーが発生する場合は、お買い求めの販売店またはサービスセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXXXX」(6桁または8桁の英数字コード番号)を必ず伝えてください。</p>
<p>案内 インク残量が不足しているためクリーニングできませんでした。 クリーニングに必要なインク残量が不足していてもプリンターは使用できます。</p>	<p>クリーニングを実施するときは、十分な残量のあるインクカートリッジを取り付けてください。 (☞ 32 ページ「インクカートリッジの交換手順」)</p>
<p>案内 ラベルを剥がしてください。</p>	<p>ピーラーについているラベルを剥がしてください。 解消されない場合には、ピーラーリセットボタンを押してください。</p>
<p>案内 一時停止中 ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。</p>	<p>ノズルが目詰まりしているため、印刷品質が低下する可能性があります。許容できないときはプリントヘッドのクリーニングを行ってください。 (☞ 64 ページ「プリントヘッドのクリーニング」)</p>

画面表示	対処方法と参照先
案内 前面カバーを開け、用紙押さえユニットを閉じてください。	前面カバーを開け、用紙押さえユニットを閉じてください。 用紙押さえユニットを開けると、用紙詰まりエラーが発生することがあります。用紙詰まりエラーが解除されない場合は、以下の手順を実施してください。 オートカッターモデル： (🔗 67 ページ「オートカッターモデルの場合」) ピーラーモデル： (🔗 69 ページ「ピーラーモデルの場合」)

仕様

本章では、本製品の仕様を説明しています。

製品仕様

項目		CW-C6020 Series	CW-C6520 Series		
印刷方式		シリアルインクジェットドットマトリックス方式 4色カラー印字			
紙送り方式		フリクションフィードによる正逆方向送り			
オートカッターのカット形態 (オートカッターモデルのみ)		フルカット (完全切り離し)			
印刷解像度		300×600 dpi, 600×600 dpi 600×1200 dpi, 1200×1200 dpi			
印刷速度	印刷品質設定：ドラフト 300×600 dpi (横×縦)	印刷幅	25.4 mm	156 mm/s	156 mm/s
			101.6 mm	119 mm/s	119 mm/s
			203.2 mm	—	85 mm/s
	印刷品質設定：速い 600×600 dpi (横×縦)	印刷幅	25.4 mm	125 mm/s	125 mm/s
			101.6 mm	75 mm/s	75 mm/s
			203.2 mm	—	49 mm/s
	印刷品質設定：普通 600×600 dpi (横×縦)	印刷幅	25.4 mm	63 mm/s	63 mm/s
			101.6 mm	48 mm/s	48 mm/s
			203.2 mm	—	34 mm/s
	印刷品質設定：きれい 600×1200 dpi (横×縦)	印刷幅	25.4 mm	27 mm/s	27 mm/s
			101.6 mm	18 mm/s	18 mm/s
			203.2 mm	—	13 mm/s
印刷品質設定：高精細 1200×1200 dpi (横×縦)	印刷幅	25.4 mm	11 mm/s	11 mm/s	
		101.6 mm	8 mm/s	8 mm/s	
		203.2 mm	—	6 mm/s	
インターフェース		有線 LAN (1000BASE-T/100BASE-TX /10BASE-T) USB2.0 High-Speed			
質量	オートカッターモデル	約 22.5 kg	約 25.5 kg		
	ピーラーモデル	約 22.8 kg	約 26.3 kg		

電氣的仕様

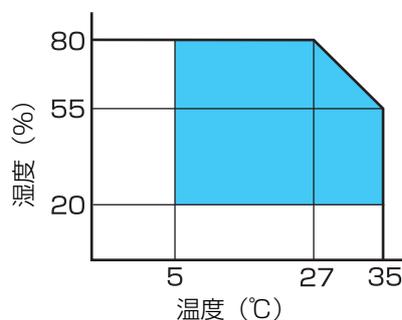
項目		CW-C6020 Series	CW-C6520 Series
電源供給		電源コネクタによる電源供給	
定格電圧		100 ~ 240 V	
定格電流		0.9 A	
消費電力	動作時	100 V : 平均 約 39.4 W 230 V : 平均 約 38.6 W	100 V : 平均 約 39.5 W 230 V : 平均 約 38.7 W
	待機時	100 V : 平均 約 7.51 W 230 V : 平均 約 5.82 W	100 V : 平均 約 7.51 W 230 V : 平均 約 5.82 W
	電源オフ時	100 V : 平均 約 0.08 W 230 V : 平均 約 0.24 W	100 V : 平均 約 0.08 W 230 V : 平均 約 0.24 W

外形寸法

項目	CW-C6020 Series	CW-C6520 Series
高さ	326 mm	326 mm
幅	340 mm	444 mm
奥行	565 mm (突起部を除く)	515 mm (突起部を除く)

環境仕様

温度／湿度	印刷時	5 ～ 35 ℃、20 ～ 80%RH 非結露（下図の網掛け領域）	
	バーコード印刷時	15 ～ 35 ℃、20 ～ 80%RH 非結露	
	保管時	出荷梱包状態 (インク非充填)	-20 ～ 60 ℃、5 ～ 85%RH 非結露 (-20 ℃または 60 ℃の場合 120 時間以内)
		インク 充填状態	フォト インク仕様
		マット インク仕様	-10 ～ 40 ℃、20 ～ 85%RH 非結露 (-10 ℃の場合：120 時間以内) (0 ～ 25 ℃の場合：6 か月以内) (40 ℃の場合：1 か月以内) インク抜きを行うことにより、-20 ℃までの 保存を確保できる
標高	0 ～ 3000 m		
騒音	オートカッターモデル：約 55 dB ピーラーモデル：約 60 dB 弊社評価条件によります。		



用紙仕様

本製品で使用可能な用紙は以下のとおりです。

ブラックインク仕様	対应用紙
フォトインク仕様	マット紙 合成紙 光沢紙 光沢フィルム 高光沢紙
マットインク仕様	普通紙 マット紙 合成紙 上質紙

インクカートリッジ

型番	CW-C6020A CW-C6020P CW-C6520A CW-C6520P	SJIC37P-BK/SJIC37P-MK/SJIC37P-C/SJIC37P-M/ SJIC37P-Y
形態	4色インク別体型専用インクカートリッジ	
インク色	ブラック（フォトブラック、マットブラック）、シアン、マゼンタ、イエロー	
インク種	顔料インク	
有効期限	プリンター装着後6ヵ月、使用期間を含めて製造日から3年	
保存温度	個装輸送時	-20～60℃（60℃の場合、5日以内）
	個装保存時	-20～40℃（40℃の場合、1ヵ月以内）
	本体装着時	-20～40℃（40℃の場合、1ヵ月以内）

メンテナンスボックス

型番	SJMB6000/6500	
形態	廃液吸収材一体型メンテナンスボックス	
保存温度	個装輸送時	-20～60℃（60℃の場合、5日以内）
	個装保存時	-20～40℃（40℃の場合、1ヵ月以内）
	本体装着時	-20～40℃（40℃の場合、1ヵ月以内）

付録

消耗品とオプション品

本製品で使用可能な消耗品およびオプション品の紹介をします。製品の販売代理店でお買い求めください。また、詳細は下記 URL にてご確認ください。

< <https://www.epson.jp/support/> >

インクカートリッジ

インクカートリッジは 4 色あります。ブラックインクはフォトインク (BK) / マットインク (MK) の 2 種類あります。*

本製品で使用可能なインクカートリッジは [83 ページ「インクカートリッジ」](#) を参照してください。

本体の画面に [インクカートリッジ交換] と表示されたら、インクカートリッジの交換時期です。

([図 31 ページ「インクカートリッジの交換」](#))

* ご使用のプリンターによっては、マットブラックインクが使えないモデルがあります。

純正インクカートリッジのおすすめ

- プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをおすすめします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本製品のプリンタードライバーは純正インクカートリッジを前提に色調整されています。純正品以外を使用すると、印刷品質が低下することがあります。インクカートリッジは純正品のご使用をおすすめします。

インクカートリッジの回収

環境保全の一環として、使用済みインクカートリッジの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。回収されたインクカートリッジは、原材料に再生し、リサイクルしています。最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのウェブサイトでご案内しています。

< <https://www.epson.jp/> >

インクカートリッジの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

メンテナンスボックス

メンテナンスボックスとは、インクの廃液を回収するボックスです。本製品で使用可能なメンテナンスボックスは以下です。

型番：SJMB6000/6500

本体の画面に [メンテナンスボックス交換] と表示されたら、メンテナンスボックスの交換時期です。
([☞ 33 ページ「メンテナンスボックスの交換」](#))

純正メンテナンスボックスのおすすめ

プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン純正品のメンテナンスボックスのご使用をおすすめします。純正品以外のものご使用になりますと、プリンター本体に悪影響が出るなど、プリンター本体の性能を発揮できない場合があります。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。エプソンは純正品以外の品質や信頼性について保証できません。

メンテナンスボックスの回収

環境保全の一環として、使用済みメンテナンスボックスの回収ポストをエプソン製品取扱店に設置しています。回収されたメンテナンスボックスは、原材料に再生し、リサイクルしています。

最寄りの回収ポスト設置店舗はエプソンのウェブサイトでご案内しています。

< <https://www.epson.jp/> >

メンテナンスボックスの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

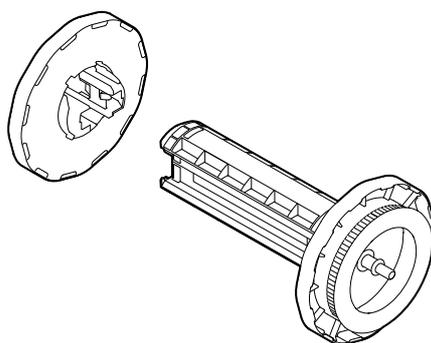
ロール紙ホルダー

スペアのロール紙ホルダーがオプションで用意されています。以下のような場合、スペアのロール紙ホルダーにあらかじめ用紙をセットしておくことで、ロール紙交換が素早く行えます。

- 異なるサイズ、材質のラベルを頻繁に入れ替えて使いたい場合
- ロール紙交換によるダウンタイムを少なくしたい場合

型番：

- Paper Holder C6000 (CW-C6020A、CW-C6020P 用)
- Paper Holder C6500 (CW-C6520A、CW-C6520P 用)



項目	Paper Holder C6000	Paper Holder C6500
外形寸法 (HxWxD)	220×206×220 mm	175×310×175 mm
質量	0.65 kg	0.65 kg

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

お問い合わせ前の確認事項

本製品についての技術的な質問や疑問、あるいは障害がある場合、以下の情報をご確認の上、販売店もしくは弊社開発者向けヘルプデスク < <https://www.epson.jp/support/> > にお問い合わせください。

 重要	<ul style="list-style-type: none"> ● 弊社への技術的な質問、疑問の問い合わせ内容については、弊社のプリンターに関することに限らせていただきます。それ以外の Microsoft Corporation ないしはその他の会社が所有する技術に関する内容については、それを所有する会社にお問い合わせください。 ● 障害が発生した場合、お問い合わせの前に、物理的な障害（接続、電源等の問題）がないかを確認してください。
--	--

- 問い合わせ分類：障害 / 質問
- 日付：
- 御社名：
- 部署名：
- お名前：
- お電話 / FAX / Email：
- コンピューター情報：
 - 製造メーカー
 - CPU
- OS（サービスパックも含む）：
- 対象プリンター機種名：
- プリンタードライバ：インストール済み（OS 標準 / Epson カスタム） / インストールしていない
- 対象プリンター接続形態：USB / LAN / MS 共有（クライアント / サーバー）
- 印刷ツール：ローカル（LPT / USB） / OS 標準 Standard TCPIP / OS 添付 LPR / Epson 製 TCPIP 印刷（名称） / 自社カスタムアプリケーション / その他（製品名 / Ver.）
- ファイアウォール：OS 標準 / パーソナル（製品名 / Ver.） / 無し
- 御社アプリケーション情報：
 - Windows サービス動作 / 通常 EXE 動作
- 弊社アプリ動作状況：EpsonNet WebManager / EpsonNet Log Browser / EPSON Monitoring Tool / EpsonNet SDK for Windows / CW-C6520 Series PrinterSetting / その他（名前）
- 障害の現象（or 質問内容）：
- システム構成：コンピューター、ネットワークなどハードウェア構成と、ソフトウェアモジュール構成
- 障害の再現手順：操作手順、関数実行手順、現象を発生させた関数とその引数の値
- 障害の再現性：再現する（ 回中 回） / 再現しない

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Server® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2019-2022.